

社会福祉援助技術演習 (SA) § 人間福祉演習III (SA)

14145

担当者名 / Instructor 櫻谷 真理子

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術現場実習」と連動して行う。現場実習の事前・事後学習と関連させながら、事例検討やグループ学習、実技指導(ロールプレー等)など多様な演習活動をおして社会福祉士としての知識・技能・倫理の習得をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人と環境の相互作用に着目し、生態学的な視点をもって、人々やコミュニティが経験している問題状況や可能性について理解する力をつける。
2. 人、集団、組織、地域社会の問題解決・予防のための方法とプロセス、資源について理解し、基礎的な実践力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導I」を前年度に履修しておかなければならない。また、前期には「社会福祉援助技術現場実習指導II」を後期には「社会福祉援助技術現場実習指導III」を同時に履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	社会福祉士が対応する問題	
第3回	社会福祉士が対応する問題	
第4回	社会福祉士が対応する問題	
第5回	社会福祉士が対応する問題	
第6回	社会福祉士が対応する問題	
第7回	課題解決の方法	
第8回	課題解決の方法	
第9回	課題解決の方法	
第10回	課題解決の方法	
第11回	課題解決の方法	
第12回	社会福祉現場	
第13回	社会福祉現場	
第14回	社会福祉現場	
第15回	ふりかえり	
第16回	授業の概要と導入	
第17回	事例検討(実習報告)	
第18回	事例検討(実習報告)	
第19回	事例検討(実習報告)	
第20回	事例検討(実習報告)	
第21回	事例検討(実習報告)	
第22回	中間報告会	
第23回	中間報告会	
第24回	課題についてのグループプロジェクト	
第25回	課題についてのグループプロジェクト	
第26回	課題についてのグループプロジェクト	
第27回	課題についてのグループプロジェクト	
第28回	課題についてのグループプロジェクト	
第29回	実習総括報告会	
第30回	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習活動、レポート、毎週のミニレポートなどを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術演習 (SB) § 人間福祉演習III (SB)

14146

担当者名 / Instructor 鎮目 真人

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術現場実習」と連動して行う。現場実習の事前・事後学習と関連させながら、事例検討やグループ学習、実技指導(ロールプレー等)など多様な演習活動をおして社会福祉士としての知識・技能・倫理の習得をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人と環境の相互作用に着目し、生態学的な視点をもって、人々やコミュニティが経験している問題状況や可能性について理解する力をつける。
2. 人、集団、組織、地域社会の問題解決・予防のための方法とプロセス、資源について理解し、基礎的な実践力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導I」を前年度に履修しておかなければならない。また、前期には「社会福祉援助技術現場実習指導II」を後期には「社会福祉援助技術現場実習指導III」を同時に履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	社会福祉士が対応する問題	
第3回	社会福祉士が対応する問題	
第4回	社会福祉士が対応する問題	
第5回	社会福祉士が対応する問題	
第6回	社会福祉士が対応する問題	
第7回	課題解決の方法	
第8回	課題解決の方法	
第9回	課題解決の方法	
第10回	課題解決の方法	
第11回	課題解決の方法	
第12回	社会福祉現場	
第13回	社会福祉現場	
第14回	社会福祉現場	
第15回	ふりかえり	
第16回	授業の概要と導入	
第17回	事例検討(実習報告)	
第18回	事例検討(実習報告)	
第19回	事例検討(実習報告)	
第20回	事例検討(実習報告)	
第21回	事例検討(実習報告)	
第22回	中間報告会	
第23回	中間報告会	
第24回	課題についてのグループプロジェクト	
第25回	課題についてのグループプロジェクト	
第26回	課題についてのグループプロジェクト	
第27回	課題についてのグループプロジェクト	
第28回	課題についてのグループプロジェクト	
第29回	実習総括報告会	
第30回	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習活動、レポート、毎週のミニレポートなどを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術演習 (SC) § 人間福祉演習III (SC) § 社会福祉援助技術演習 (SC)

14147

担当者名 / Instructor 岡田 まり

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術現場実習」と連動して行う。現場実習の事前・事後学習と関連させながら、事例検討やグループ学習、実技指導(ロールプレー等)など多様な演習活動をとおりて社会福祉士としての知識・技能・倫理の習得をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人と環境の相互作用に着目し、生態学的な視点をもって、人々やコミュニティが経験している問題状況や可能性について理解する力をつける。
2. 人、集団、組織、地域社会の問題解決・予防のための方法とプロセス、資源について理解し、基礎的な実践力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導I」を前年度に履修しておかなければならない。また、前期には「社会福祉援助技術現場実習指導II」を後期には「社会福祉援助技術現場実習指導III」を同時に履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	社会福祉士が対応する問題	
第3回	社会福祉士が対応する問題	
第4回	社会福祉士が対応する問題	
第5回	社会福祉士が対応する問題	
第6回	社会福祉士が対応する問題	
第7回	課題解決の方法	
第8回	課題解決の方法	
第9回	課題解決の方法	
第10回	課題解決の方法	
第11回	課題解決の方法	
第12回	社会福祉現場	
第13回	社会福祉現場	
第14回	社会福祉現場	
第15回	ふりかえり	
第16回	授業の概要と導入	
第17回	事例検討(実習報告)	
第18回	事例検討(実習報告)	
第19回	事例検討(実習報告)	
第20回	事例検討(実習報告)	
第21回	事例検討(実習報告)	
第22回	中間報告会	
第23回	中間報告会	
第24回	課題についてのグループプロジェクト	
第25回	課題についてのグループプロジェクト	
第26回	課題についてのグループプロジェクト	
第27回	課題についてのグループプロジェクト	
第28回	課題についてのグループプロジェクト	
第29回	実習総括報告会	
第30回	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習活動、レポート、毎週のミニレポートなどを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術演習 (SD) § 人間福祉演習III (SD)

14148

担当者名 / Instructor 廣末 利弥

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術現場実習」と連動して行う。現場実習の事前・事後学習と関連させながら、事例検討やグループ学習、実技指導(ロールプレー等)など多様な演習活動をおして社会福祉士としての知識・技能・倫理の習得をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人と環境の相互作用に着目し、生態学的な視点をもって、人々やコミュニティが経験している問題状況や可能性について理解する力をつける。
2. 人、集団、組織、地域社会の問題解決・予防のための方法とプロセス、資源について理解し、基礎的な実践力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導I」を前年度に履修しておかなければならない。また、前期には「社会福祉援助技術現場実習指導II」を後期には「社会福祉援助技術現場実習指導III」を同時に履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	社会福祉士が対応する問題	
第3回	社会福祉士が対応する問題	
第4回	社会福祉士が対応する問題	
第5回	社会福祉士が対応する問題	
第6回	社会福祉士が対応する問題	
第7回	課題解決の方法	
第8回	課題解決の方法	
第9回	課題解決の方法	
第10回	課題解決の方法	
第11回	課題解決の方法	
第12回	社会福祉現場	
第13回	社会福祉現場	
第14回	社会福祉現場	
第15回	ふりかえり	
第16回	授業の概要と導入	
第17回	事例検討(実習報告)	
第18回	事例検討(実習報告)	
第19回	事例検討(実習報告)	
第20回	事例検討(実習報告)	
第21回	事例検討(実習報告)	
第22回	中間報告会	
第23回	中間報告会	
第24回	課題についてのグループプロジェクト	
第25回	課題についてのグループプロジェクト	
第26回	課題についてのグループプロジェクト	
第27回	課題についてのグループプロジェクト	
第28回	課題についてのグループプロジェクト	
第29回	実習総括報告会	
第30回	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習活動、レポート、毎週のミニレポートなどを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術演習 (SE) § 人間福祉演習III (SE)

14149

担当者名 / Instructor 山田 尋志

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術現場実習」と連動して行う。現場実習の事前・事後学習と関連させながら、事例検討やグループ学習、実技指導(ロールプレー等)など多様な演習活動をおして社会福祉士としての知識・技能・倫理の習得をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人と環境の相互作用に着目し、生態学的な視点をもって、人々やコミュニティが経験している問題状況や可能性について理解する力をつける。
2. 人、集団、組織、地域社会の問題解決・予防のための方法とプロセス、資源について理解し、基礎的な実践力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導I」を前年度に履修しておかなければならない。また、前期には「社会福祉援助技術現場実習指導II」を後期には「社会福祉援助技術現場実習指導III」を同時に履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	社会福祉士が対応する問題	
第3回	社会福祉士が対応する問題	
第4回	社会福祉士が対応する問題	
第5回	社会福祉士が対応する問題	
第6回	社会福祉士が対応する問題	
第7回	課題解決の方法	
第8回	課題解決の方法	
第9回	課題解決の方法	
第10回	課題解決の方法	
第11回	課題解決の方法	
第12回	社会福祉現場	
第13回	社会福祉現場	
第14回	社会福祉現場	
第15回	ふりかえり	
第16回	授業の概要と導入	
第17回	事例検討(実習報告)	
第18回	事例検討(実習報告)	
第19回	事例検討(実習報告)	
第20回	事例検討(実習報告)	
第21回	事例検討(実習報告)	
第22回	中間報告会	
第23回	中間報告会	
第24回	課題についてのグループプロジェクト	
第25回	課題についてのグループプロジェクト	
第26回	課題についてのグループプロジェクト	
第27回	課題についてのグループプロジェクト	
第28回	課題についてのグループプロジェクト	
第29回	実習総括報告会	
第30回	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習活動、レポート、毎週のミニレポートなどを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術演習 (SF) § 人間福祉演習III (SF)

14150

担当者名 / Instructor 池添 素

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術現場実習」と連動して行う。現場実習の事前・事後学習と関連させながら、事例検討やグループ学習、実技指導(ロールプレー等)など多様な演習活動をおして社会福祉士としての知識・技能・倫理の習得をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人と環境の相互作用に着目し、生態学的な視点をもって、人々やコミュニティが経験している問題状況や可能性について理解する力をつける。
2. 人、集団、組織、地域社会の問題解決・予防のための方法とプロセス、資源について理解し、基礎的な実践力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導I」を前年度に履修しておかなければならない。また、前期には「社会福祉援助技術現場実習指導II」を後期には「社会福祉援助技術現場実習指導III」を同時に履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	社会福祉士が対応する問題	
第3回	社会福祉士が対応する問題	
第4回	社会福祉士が対応する問題	
第5回	社会福祉士が対応する問題	
第6回	社会福祉士が対応する問題	
第7回	課題解決の方法	
第8回	課題解決の方法	
第9回	課題解決の方法	
第10回	課題解決の方法	
第11回	課題解決の方法	
第12回	社会福祉現場	
第13回	社会福祉現場	
第14回	社会福祉現場	
第15回	ふりかえり	
第16回	授業の概要と導入	
第17回	事例検討(実習報告)	
第18回	事例検討(実習報告)	
第19回	事例検討(実習報告)	
第20回	事例検討(実習報告)	
第21回	事例検討(実習報告)	
第22回	中間報告会	
第23回	中間報告会	
第24回	課題についてのグループプロジェクト	
第25回	課題についてのグループプロジェクト	
第26回	課題についてのグループプロジェクト	
第27回	課題についてのグループプロジェクト	
第28回	課題についてのグループプロジェクト	
第29回	実習総括報告会	
第30回	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習活動、レポート、毎週のミニレポートなどを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術演習 (SG) § 人間福祉演習III (SG)

14151

担当者名 / Instructor 黒田 学

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術現場実習」と連動して行う。現場実習の事前・事後学習と関連させながら、事例検討やグループ学習、実技指導(ロールプレー等)など多様な演習活動をおして社会福祉士としての知識・技能・倫理の習得をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人と環境の相互作用に着目し、生態学的な視点をもって、人々やコミュニティが経験している問題状況や可能性について理解する力をつける。
2. 人、集団、組織、地域社会の問題解決・予防のための方法とプロセス、資源について理解し、基礎的な実践力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導I」を前年度に履修しておかなければならない。また、前期には「社会福祉援助技術現場実習指導II」を後期には「社会福祉援助技術現場実習指導III」を同時に履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	社会福祉士が対応する問題	
第3回	社会福祉士が対応する問題	
第4回	社会福祉士が対応する問題	
第5回	社会福祉士が対応する問題	
第6回	社会福祉士が対応する問題	
第7回	課題解決の方法	
第8回	課題解決の方法	
第9回	課題解決の方法	
第10回	課題解決の方法	
第11回	課題解決の方法	
第12回	社会福祉現場	
第13回	社会福祉現場	
第14回	社会福祉現場	
第15回	ふりかえり	
第16回	授業の概要と導入	
第17回	事例検討(実習報告)	
第18回	事例検討(実習報告)	
第19回	事例検討(実習報告)	
第20回	事例検討(実習報告)	
第21回	事例検討(実習報告)	
第22回	中間報告会	
第23回	中間報告会	
第24回	課題についてのグループプロジェクト	
第25回	課題についてのグループプロジェクト	
第26回	課題についてのグループプロジェクト	
第27回	課題についてのグループプロジェクト	
第28回	課題についてのグループプロジェクト	
第29回	実習総括報告会	
第30回	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習活動、レポート、毎週のミニレポートなどを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術現場実習 (SA) § 社会福祉援助技術現場実習 (SG)

20290

担当者名 / Instructor 岡田 まり

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

社会福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目ある。「社会福祉援助技術実習指導I」を通して配属される施設・機関において、180時間以上の現場実習を行う。実習中は、「社会福祉援助技術実習指導II」で受講生が担当教員および実習施設職員と協議しながら作成する実習計画にそって、施設職員の指導の下で多様な課題に取り組む。本学の実習担当者による巡回指導も行われる。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人や地域が直面している問題について、個別の状況を理解するとともに、それらの社会背景や関連要因について把握し、社会問題としての理解を深める。
2. 福祉サービスを提供する機関や施設の役割、位置づけ、業務内容、サービス提供の方法、組織および分野の課題について具体的に理解する。
3. 社会福祉士に必要なとされる知識、技術、倫理について具体的かつ实际的に理解し、基礎的な実践力を身につける。
4. 自己についての気づきが増え、社会福祉士となるために、今度、取り組むべき課題が明確になる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目履修のためには、前年度に「社会福祉援助技術実習指導I」を履修しておかなければならない。また、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術実習指導III」「社会福祉援助技術演習」は同年度に履修しなければならない。さらに、「社会福祉援助技術論」、「ソーシャルワーク論」、実習先の分野に関わる社会福祉士指定科目を履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	社会福祉援助技術現場実習の実践経過と成果によって評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術現場実習 (SB)

20171

担当者名 / Instructor 鎮目 真人

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

社会福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目ある。「社会福祉援助技術実習指導I」を通して配属される施設・機関において、180時間以上の現場実習を行う。実習中は、「社会福祉援助技術実習指導II」で受講生が担当教員および実習施設職員と協議しながら作成する実習計画にそって、施設職員の指導の下で多様な課題に取り組む。本学の実習担当者による巡回指導も行われる。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人や地域が直面している問題について、個別の状況を理解するとともに、それらの社会背景や関連要因について把握し、社会問題としての理解を深める。
2. 福祉サービスを提供する機関や施設の役割、位置づけ、業務内容、サービス提供の方法、組織および分野の課題について具体的に理解する。
3. 社会福祉士に必要とされる知識、技術、倫理について具体的かつ实际的に理解し、基礎的な実践力を身につける。
4. 自己についての気づきが増え、社会福祉士となるために、今度、取り組むべき課題が明確になる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目履修のためには、前年度に「社会福祉援助技術実習指導I」を履修しておかなければならない。また、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術実習指導III」「社会福祉援助技術演習」は同年度に履修しなければならない。さらに、「社会福祉援助技術論」、「ソーシャルワーク論」、実習先の分野に関わる社会福祉士指定科目を履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	社会福祉援助技術現場実習の実践経過と成果によって評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術現場実習 (SC)

20291

担当者名 / Instructor 櫻谷 真理子

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

社会福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目ある。「社会福祉援助技術実習指導I」を通して配属される施設・機関において、180時間以上の現場実習を行う。実習中は、「社会福祉援助技術実習指導II」で受講生が担当教員および実習施設職員と協議しながら作成する実習計画にそって、施設職員の指導の下で多様な課題に取り組む。本学の実習担当者による巡回指導も行われる。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人や地域が直面している問題について、個別の状況を理解するとともに、それらの社会背景や関連要因について把握し、社会問題としての理解を深める。
2. 福祉サービスを提供する機関や施設の役割、位置づけ、業務内容、サービス提供の方法、組織および分野の課題について具体的に理解する。
3. 社会福祉士に必要なとされる知識、技術、倫理について具体的かつ実際に理解し、基礎的な実践力を身につける。
4. 自己についての気づきが増え、社会福祉士となるために、今度、取り組むべき課題が明確になる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目履修のためには、前年度に「社会福祉援助技術実習指導I」を履修しておかなければならない。また、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術実習指導III」「社会福祉援助技術演習」は同年度に履修しなければならない。さらに、「社会福祉援助技術論」、「ソーシャルワーク論」、実習先の分野に関わる社会福祉士指定科目を履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	社会福祉援助技術現場実習の実践経過と成果によって評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術現場実習 (SD)

20292

担当者名 / Instructor 竹内 謙彰

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

社会福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目ある。「社会福祉援助技術実習指導I」を通して配属される施設・機関において、180時間以上の現場実習を行う。実習中は、「社会福祉援助技術実習指導II」で受講生が担当教員および実習施設職員と協議しながら作成する実習計画にそって、施設職員の指導の下で多様な課題に取り組む。本学の実習担当者による巡回指導も行われる。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人や地域が直面している問題について、個別の状況を理解するとともに、それらの社会背景や関連要因について把握し、社会問題としての理解を深める。
2. 福祉サービスを提供する機関や施設の役割、位置づけ、業務内容、サービス提供の方法、組織および分野の課題について具体的に理解する。
3. 社会福祉士に必要なとされる知識、技術、倫理について具体的かつ实际的に理解し、基礎的な実践力を身につける。
4. 自己についての気づきが増え、社会福祉士となるために、今度、取り組むべき課題が明確になる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目履修のためには、前年度に「社会福祉援助技術実習指導I」を履修しておかなければならない。また、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術実習指導III」「社会福祉援助技術演習」は同年度に履修しなければならない。さらに、「社会福祉援助技術論」、「ソーシャルワーク論」、実習先の分野に関わる社会福祉士指定科目を履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	社会福祉援助技術現場実習の実践経過と成果によって評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術現場実習 (SE)

20293

担当者名 / Instructor 峰島 厚

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

社会福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目ある。「社会福祉援助技術実習指導I」を通して配属される施設・機関において、180時間以上の現場実習を行う。実習中は、「社会福祉援助技術実習指導II」で受講生が担当教員および実習施設職員と協議しながら作成する実習計画にそって、施設職員の指導の下で多様な課題に取り組む。本学の実習担当者による巡回指導も行われる。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人や地域が直面している問題について、個別の状況を理解するとともに、それらの社会背景や関連要因について把握し、社会問題としての理解を深める。
2. 福祉サービスを提供する機関や施設の役割、位置づけ、業務内容、サービス提供の方法、組織および分野の課題について具体的に理解する。
3. 社会福祉士に必要なとされる知識、技術、倫理について具体的かつ实际的に理解し、基礎的な実践力を身につける。
4. 自己についての気づきが増え、社会福祉士となるために、今度、取り組むべき課題が明確になる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目履修のためには、前年度に「社会福祉援助技術実習指導I」を履修しておかなければならない。また、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術実習指導III」「社会福祉援助技術演習」は同年度に履修しなければならない。さらに、「社会福祉援助技術論」、「ソーシャルワーク論」、実習先の分野に関わる社会福祉士指定科目を履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	社会福祉援助技術現場実習の実践経過と成果によって評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術現場実習 (SF)

20287

担当者名 / Instructor 石倉 康次

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

社会福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目ある。「社会福祉援助技術実習指導I」を通して配属される施設・機関において、180時間以上の現場実習を行う。実習中は、「社会福祉援助技術実習指導II」で受講生が担当教員および実習施設職員と協議しながら作成する実習計画にそって、施設職員の指導の下で多様な課題に取り組む。本学の実習担当者による巡回指導も行われる。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人や地域が直面している問題について、個別の状況を理解するとともに、それらの社会背景や関連要因について把握し、社会問題としての理解を深める。
2. 福祉サービスを提供する機関や施設の役割、位置づけ、業務内容、サービス提供の方法、組織および分野の課題について具体的に理解する。
3. 社会福祉士に必要とされる知識、技術、倫理について具体的かつ实际的に理解し、基礎的な実践力を身につける。
4. 自己についての気づきが増え、社会福祉士となるために、今度、取り組むべき課題が明確になる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目履修のためには、前年度に「社会福祉援助技術実習指導I」を履修しておかなければならない。また、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術実習指導III」「社会福祉援助技術演習」は同年度に履修しなければならない。さらに、「社会福祉援助技術論」、「ソーシャルワーク論」、実習先の分野に関わる社会福祉士指定科目を履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	社会福祉援助技術現場実習の実践経過と成果によって評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術現場実習 (SG)

20288

担当者名 / Instructor 黒田 学

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

社会福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目ある。「社会福祉援助技術実習指導I」を通して配属される施設・機関において、180時間以上の現場実習を行う。実習中は、「社会福祉援助技術実習指導II」で受講生が担当教員および実習施設職員と協議しながら作成する実習計画にそって、施設職員の指導の下で多様な課題に取り組む。本学の実習担当者による巡回指導も行われる。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人や地域が直面している問題について、個別の状況を理解するとともに、それらの社会背景や関連要因について把握し、社会問題としての理解を深める。
2. 福祉サービスを提供する機関や施設の役割、位置づけ、業務内容、サービス提供の方法、組織および分野の課題について具体的に理解する。
3. 社会福祉士に必要とされる知識、技術、倫理について具体的かつ实际的に理解し、基礎的な実践力を身につける。
4. 自己についての気づきが増え、社会福祉士となるために、今度、取り組むべき課題が明確になる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目履修のためには、前年度に「社会福祉援助技術実習指導I」を履修しておかなければならない。また、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術実習指導III」「社会福祉援助技術演習」は同年度に履修しなければならない。さらに、「社会福祉援助技術論」、「ソーシャルワーク論」、実習先の分野に関わる社会福祉士指定科目を履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	社会福祉援助技術現場実習の実践経過と成果によって評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導I (SD)

15566

担当者名 / Instructor 岡田 まり

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、社会福祉士課程の実習関連科目の一つで、福祉現場での実習を行うための導入科目である。本科目では、第一に、実習とはどのようなものかを理解し、実習に際して何が重要か認識できるようにする。第二に、社会福祉のさまざまな分野・領域について概観し、福祉現場とサービス利用者(潜在的利用者)の実態や課題について学ぶ。第三に、実習に向けて受講生各自が問題意識を整理し、自己理解を深めるとともに、実習を行う領域と実習種別を決める。福祉の現場と実践について現実的な認識を深めるために、授業には、演習活動、福祉専門職や実習経験者らゲストスピーカーの講義、施設訪問など多様な学習方法を取り入れる。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 社会福祉援助技術現場実習の目的と概要について理解したうえで、自分自身にとっての実習の意義を明確にする。
2. 福祉実践の現場と利用者の状況についての現実的な基礎知識をもち、3年次の実習にむけて、さらに何を学ぶべきかがわかる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

社会福祉士課程の指定科目をできるだけ履修することが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1講	授業の概要と導入	授業スケジュール、学習方法、レポート、実習先選定のプロセスと方法
第2講	社会福祉士と社会福祉実践	
第3講	行政機関とその福祉サービスについて1	
第4講	行政機関とその福祉サービスについて2	
第5講	高齢者福祉分野について1	
第6講	高齢者福祉分野について2	
第7講	児童福祉分野について1	
第8講	児童福祉分野について2	
第9講	障害者福祉分野について1	
第10講	障害者福祉分野について2	
第11講	地域福祉分野について1	
第12講	地域福祉分野について2	
第13講	分野別学習のまとめと補足	
第14講	実習に関連する心配・不安・気がかり等とそれらへの対処法	
第15講	振り返りと今後の課題	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回の授業への取り組み状況(出席、参加度)、コミュニケーションペーパー、分野別レポート等を総合的に評価する。

日常点評価は、ガイダンスや授業への出席、レポート等必要書類の提出をもって厳しく行う。

欠席1回1点、遅刻0.5点、提出なし1点、提出遅れ0.5点で減点を行い、5点以上減点となった場合に不合格となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ソーシャルワーク実習	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導I (SE)

15567

担当者名 / Instructor 西村 清忠

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、社会福祉士課程の実習関連科目の一つで、福祉現場での実習を行うための導入科目である。本科目では、第一に、実習とはどのようなものかを理解し、実習に際して何が重要か認識できるようにする。第二に、社会福祉のさまざまな分野・領域について概観し、福祉現場とサービス利用者(潜在的利用者)の実態や課題について学ぶ。第三に、実習に向けて受講生各自が問題意識を整理し、自己理解を深めるとともに、実習を行う領域と実習種別を決める。福祉の現場と実践について現実的な認識を深めるために、授業には、演習活動、福祉専門職や実習経験者らゲストスピーカーの講義、施設訪問など多様な学習方法を取り入れる。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 社会福祉援助技術現場実習の目的と概要について理解したうえで、自分自身にとっての実習の意義を明確にする。
2. 福祉実践の現場と利用者の状況についての現実的な基礎知識をもち、3年次の実習にむけて、さらに何を学ぶべきかがわかる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

社会福祉士課程の指定科目をできるだけ履修することが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1講	授業の概要と導入	授業スケジュール、学習方法、レポート、実習先選定のプロセスと方法
第2講	社会福祉士と社会福祉実践	
第3講	行政機関とその福祉サービスについて1	
第4講	行政機関とその福祉サービスについて2	
第5講	高齢者福祉分野について1	
第6講	高齢者福祉分野について2	
第7講	児童福祉分野について1	
第8講	児童福祉分野について2	
第9講	障害者福祉分野について1	
第10講	障害者福祉分野について2	
第11講	地域福祉分野について1	
第12講	地域福祉分野について2	
第13講	分野別学習のまとめと補足	
第14講	実習に関連する心配・不安・気がかり等とそれらへの対処法	
第15講	振り返りと今後の課題	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回の授業への取り組み状況(出席、参加度)、コミュニケーションペーパー、分野別レポート等を総合的に評価する。

日常点評価は、ガイダンスや授業への出席、レポート等必要書類の提出をもって厳しく行う。

欠席1回1点、遅刻0.5点、提出なし1点、提出遅れ0.5点で減点を行い、5点以上減点となった場合に不合格となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ソーシャルワーク実習	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導I (SF)

15568

担当者名 / Instructor 水谷 祥子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格を取得するために履修しなければならない実習関連科のひとつです。精神保健福祉士として、精神障害者のみならず、より多くの社会福祉現場とユーザーについての理解を深めることが必要です。同時に三回生で取り組む精神保健福祉援助実習や現場実習に向けた問題意識を明確にしつつ、精神保健福祉の現場に関する諸課題の整理を行って実習施設、実習機関等を決定する準備を行うことを目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 精神科医療機関や地域生活支援機関の目的と意義について理解する。
2. 精神保健福祉援助実習を履修するための必要な手続きや準備等について理解する。
3. 社会福祉のさまざまな現場についての概要と利用者の状況について理解する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	精神障害者 生活のしづらさ 社会資源
第2回	精神に障害がある人を理解する	ICF 生活支援
第3回	精神保健福祉士の役割・倫理	グループ討論 倫理綱領
第4回	精神保健福祉関連制度	障害者基本法 精神保健福祉法 障害者自立支援法 生活保護法 介護保険法
第5回	精神保健福祉実践に関する理解 人の事例	統合失調症 当事者を知る 当事者主体 地域支援
第6回	精神科医療機関・地域生活支援施設に関する基礎的理解 ビデオ	精神科病院 精神科クリニック 精神科デイケア・ナイトケア
第7回	精神科医療機関・地域生活支援施設に関する基礎的理解 ビデオ	精神保健福祉センター 保健所 地域活動支援センター
第8回	精神科医療機関・地域生活支援施設に関する基礎的理解	就労支援機関 就労継続・就労移行 通所授産施設 ホームヘルプ ビデオ
第9回	精神保健福祉実践に関する理解	家族会 当事者会 セルフヘルプグループ
第10回	現場をみる	ゲストスピーカー 当事者 精神保健福祉士
第11回	現場をみる	フィールドワーク 通所授産施設訪問
第12回	精神保健福祉の現場と政策	グループ討論
第13回	精神保健福祉実践に関する理解 の事例	在宅ケア 介護老人保健施設 グループホーム
第14回	小テスト 精神保健福祉の哲学・視点	グループ討論 権利擁護 エンパワメント
第15回	精神保健福祉と地域福祉	施設コンフリクト 地域福祉計画

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神保健福祉士養成テキストブック 精神保健福祉援助技術総論	小澤温・稲沢公一 / ミネループア書房出版 / /
コメディカルスタッフのための精神障害Q&A 生活支援ハンドブック	荘村明彦 / 中央法規出版 / /
精神障害者の生活支援Q&A	吉川武彦他 / 全国社会福祉協議会出版 / /

治りませんように

斉藤道夫 / みすず書房出版 / /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SA) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SA)

12710

担当者名 / Instructor 櫻谷 真理子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業では、「社会福祉援助技術演習」と連動して、「社会福祉援助技術現場実習」が充実したものとなるように事前の準備を行う。実習の目的と意義を再確認し、実習計画をたてて実習に積極的に取り組めるようにする。また、実習中の学びをより深いものにするために、実習施設・機関、利用者、福祉実践の理念や方法についての事前学習を行う。講義のほか、演習活動、グループ学習と報告、ゲストスピーカーによる講義、施設訪問など多彩な内容である。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 現場実習の意義と目的、あり方について認識する。
2. 実習分野のサービス利用者(潜在的利用者を含む)とその社会環境、福祉施設・機関、関連する法制度、社会福祉士の役割と業務についての基本的な知識をもつ。
3. 自分の思考・行動パターンや性格傾向への気づきを得るとともに、人と関わる基本的な技法を身につける。
4. 上記3点を踏まえた実習計画を完成させる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」を前年度に履修しておかなければならない。また、同年度に「社会福祉援助技術演習」と「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」を履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」「ソーシャルワーク論」および実習分野に関わる社会福祉士指定科目を履修していることが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	事前学習	
第3回	事前学習	
第4回	事前学習	
第5回	事前学習	
第6回	事前学習	
第7回	実習計画	
第8回	実習計画	
第9回	実習計画	
第10回	実習懇談会	
第11回	実習計画	
第12回	事前学習	
第13回	実習直前準備	
第14回	実習直前準備	
第15回	実習直前準備	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常的な授業における取組状況、毎授業で課される講義や討論等の内容をまとめるミニレポート、実習計画書を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SB) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SB)

12711

担当者名 / Instructor 鎮目 真人

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業では、「社会福祉援助技術演習」と連動して、「社会福祉援助技術現場実習」が充実したものとなるように事前の準備を行う。実習の目的と意義を再確認し、実習計画をたてて実習に積極的に取り組めるようにする。また、実習中の学びをより深いものにするために、実習施設・機関、利用者、福祉実践の理念や方法についての事前学習を行う。講義のほか、演習活動、グループ学習と報告、ゲストスピーカーによる講義、施設訪問など多彩な内容である。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 現場実習の意義と目的、あり方について認識する。
2. 実習分野のサービス利用者(潜在的利用者を含む)とその社会環境、福祉施設・機関、関連する法制度、社会福祉士の役割と業務についての基本的な知識をもつ。
3. 自分の思考・行動パターンや性格傾向への気づきを得るとともに、人と関わる基本的な技法を身につける。
4. 上記3点を踏まえた実習計画を完成させる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」を前年度に履修しておかなければならない。また、同年度に「社会福祉援助技術演習」と「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」を履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」「ソーシャルワーク論」および実習分野に関わる社会福祉士指定科目を履修していることが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	事前学習	
第3回	事前学習	
第4回	事前学習	
第5回	事前学習	
第6回	事前学習	
第7回	実習計画	
第8回	実習計画	
第9回	実習計画	
第10回	実習懇談会	
第11回	実習計画	
第12回	事前学習	
第13回	実習直前準備	
第14回	実習直前準備	
第15回	実習直前準備	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常的な授業における取組状況、毎授業で課される講義や討論等の内容をまとめるミニレポート、実習計画書を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SC) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SC)

12712

担当者名 / Instructor 岡田 まり

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業では、「社会福祉援助技術演習」と連動して、「社会福祉援助技術現場実習」が充実したものとなるように事前の準備を行う。実習の目的と意義を再確認し、実習計画をたてて実習に積極的に取り組めるようにする。また、実習中の学びをより深いものにするために、実習施設・機関、利用者、福祉実践の理念や方法についての事前学習を行う。講義のほか、演習活動、グループ学習と報告、ゲストスピーカーによる講義、施設訪問など多彩な内容である。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 現場実習の意義と目的、あり方について認識する。
2. 実習分野のサービス利用者(潜在的利用者を含む)とその社会環境、福祉施設・機関、関連する法制度、社会福祉士の役割と業務についての基本的な知識をもつ。
3. 自分の思考・行動パターンや性格傾向への気づきを得るとともに、人と関わる基本的な技法を身につける。
4. 上記3点を踏まえた実習計画を完成させる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」を前年度に履修しておかなければならない。また、同年度に「社会福祉援助技術演習」と「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」を履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」「ソーシャルワーク論」および実習分野に関わる社会福祉士指定科目を履修していることが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	事前学習	
第3回	事前学習	
第4回	事前学習	
第5回	事前学習	
第6回	事前学習	
第7回	実習計画	
第8回	実習計画	
第9回	実習計画	
第10回	実習懇談会	
第11回	実習計画	
第12回	事前学習	
第13回	実習直前準備	
第14回	実習直前準備	
第15回	実習直前準備	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常的な授業における取組状況、毎授業で課される講義や討論等の内容をまとめるミニレポート、実習計画書を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SD) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SD)

12713

担当者名 / Instructor 廣末 利弥

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業では、「社会福祉援助技術演習」と連動して、「社会福祉援助技術現場実習」が充実したものとなるように事前の準備を行う。実習の目的と意義を再確認し、実習計画をたてて実習に積極的に取り組めるようにする。また、実習中の学びをより深いものにするために、実習施設・機関、利用者、福祉実践の理念や方法についての事前学習を行う。講義のほか、演習活動、グループ学習と報告、ゲストスピーカーによる講義、施設訪問など多彩な内容である。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 現場実習の意義と目的、あり方について認識する。
2. 実習分野のサービス利用者(潜在的利用者を含む)とその社会環境、福祉施設・機関、関連する法制度、社会福祉士の役割と業務についての基本的な知識をもつ。
3. 自分の思考・行動パターンや性格傾向への気づきを得るとともに、人と関わる基本的な技法を身につける。
4. 上記3点を踏まえた実習計画を完成させる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」を前年度に履修しておかなければならない。また、同年度に「社会福祉援助技術演習」と「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」を履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」「ソーシャルワーク論」および実習分野に関わる社会福祉士指定科目を履修していることが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	事前学習	
第3回	事前学習	
第4回	事前学習	
第5回	事前学習	
第6回	事前学習	
第7回	実習計画	
第8回	実習計画	
第9回	実習計画	
第10回	実習懇談会	
第11回	実習計画	
第12回	事前学習	
第13回	実習直前準備	
第14回	実習直前準備	
第15回	実習直前準備	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常的な授業における取組状況、毎授業で課される講義や討論等の内容をまとめるミニレポート、実習計画書を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SE) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SE)

12714

担当者名 / Instructor 山田 尋志

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業では、「社会福祉援助技術演習」と連動して、「社会福祉援助技術現場実習」が充実したものとなるように事前の準備を行う。実習の目的と意義を再確認し、実習計画をたてて実習に積極的に取り組めるようにする。また、実習中の学びをより深いものにするために、実習施設・機関、利用者、福祉実践の理念や方法についての事前学習を行う。講義のほか、演習活動、グループ学習と報告、ゲストスピーカーによる講義、施設訪問など多彩な内容である。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 現場実習の意義と目的、あり方について認識する。
2. 実習分野のサービス利用者(潜在的利用者を含む)とその社会環境、福祉施設・機関、関連する法制度、社会福祉士の役割と業務についての基本的な知識をもつ。
3. 自分の思考・行動パターンや性格傾向への気づきを得るとともに、人と関わる基本的な技法を身につける。
4. 上記3点を踏まえた実習計画を完成させる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」を前年度に履修しておかなければならない。また、同年度に「社会福祉援助技術演習」と「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」を履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」「ソーシャルワーク論」および実習分野に関わる社会福祉士指定科目を履修していることが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	事前学習	
第3回	事前学習	
第4回	事前学習	
第5回	事前学習	
第6回	事前学習	
第7回	実習計画	
第8回	実習計画	
第9回	実習計画	
第10回	実習懇談会	
第11回	実習計画	
第12回	事前学習	
第13回	実習直前準備	
第14回	実習直前準備	
第15回	実習直前準備	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常的な授業における取組状況、毎授業で課される講義や討論等の内容をまとめるミニレポート、実習計画書を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

担当者名 / Instructor 池添 素

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業では、「社会福祉援助技術演習」と連動して、「社会福祉援助技術現場実習」が充実したものとなるように事前の準備を行う。実習の目的と意義を再確認し、実習計画をたてて実習に積極的に取り組めるようにする。また、実習中の学びをより深いものにするために、実習施設・機関、利用者、福祉実践の理念や方法についての事前学習を行う。講義のほか、演習活動、グループ学習と報告、ゲストスピーカーによる講義、施設訪問など多彩な内容である。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 現場実習の意義と目的、あり方について認識する。
2. 実習分野のサービス利用者(潜在的利用者を含む)とその社会環境、福祉施設・機関、関連する法制度、社会福祉士の役割と業務についての基本的な知識をもつ。
3. 自分の思考・行動パターンや性格傾向への気づきを得るとともに、人と関わる基本的な技法を身につける。
4. 上記3点を踏まえた実習計画を完成させる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」を前年度に履修しておかなければならない。また、同年度に「社会福祉援助技術演習」と「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」を履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」「ソーシャルワーク論」および実習分野に関わる社会福祉士指定科目を履修していることが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	事前学習	
第3回	事前学習	
第4回	事前学習	
第5回	事前学習	
第6回	事前学習	
第7回	実習計画	
第8回	実習計画	
第9回	実習計画	
第10回	実習懇談会	
第11回	実習計画	
第12回	事前学習	
第13回	実習直前準備	
第14回	実習直前準備	
第15回	実習直前準備	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常的な授業における取組状況、毎授業で課される講義や討論等の内容をまとめるミニレポート、実習計画書を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SG) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SG)

12716

担当者名 / Instructor 黒田 学

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業では、「社会福祉援助技術演習」と連動して、「社会福祉援助技術現場実習」が充実したものとなるように事前の準備を行う。実習の目的と意義を再確認し、実習計画をたてて実習に積極的に取り組めるようにする。また、実習中の学びをより深いものにするために、実習施設・機関、利用者、福祉実践の理念や方法についての事前学習を行う。講義のほか、演習活動、グループ学習と報告、ゲストスピーカーによる講義、施設訪問など多彩な内容である。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 現場実習の意義と目的、あり方について認識する。
2. 実習分野のサービス利用者(潜在的利用者を含む)とその社会環境、福祉施設・機関、関連する法制度、社会福祉士の役割と業務についての基本的な知識をもつ。
3. 自分の思考・行動パターンや性格傾向への気づきを得るとともに、人と関わる基本的な技法を身につける。
4. 上記3点を踏まえた実習計画を完成させる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」を前年度に履修しておかなければならない。また、同年度に「社会福祉援助技術演習」と「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」を履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」「ソーシャルワーク論」および実習分野に関わる社会福祉士指定科目を履修していることが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	事前学習	
第3回	事前学習	
第4回	事前学習	
第5回	事前学習	
第6回	事前学習	
第7回	実習計画	
第8回	実習計画	
第9回	実習計画	
第10回	実習懇談会	
第11回	実習計画	
第12回	事前学習	
第13回	実習直前準備	
第14回	実習直前準備	
第15回	実習直前準備	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常的な授業における取組状況、毎授業で課される講義や討論等の内容をまとめるミニレポート、実習計画書を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

担当者名 / Instructor 櫻谷 真理子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術演習」と連動しており、「社会福祉援助技術現場実習」の事後学習として位置づけられる。各自が実習の内容とそこで学んだことについてクラスで報告し、他の受講生と教員からのフィードバックを得て振り返りを行うなかで、問題についての理解を深め、自分自身への気づきを得る場とする。実習中に感じた疑問や新たに気づいた問題についての学習も行う。また、実習全体を評価して、達成できたことを確認するとともに、今後の課題についても検討する。さらに、実習報告書「轍」の作成と実習報告会を通して、実習の成果をまとめ、他の施設・機関や他分野で実習した人と学びを共有する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 福祉のサービス利用者（潜在的利用者）と地域を生態学的な視点をもって理解し、問題の解決・予防、状況改善のための具体的な方法（福祉実践）を提案することができる。
2. 福祉専門職に必要な基本的なスキルを身につけるとともに、今後、自分が取り組む課題を明確にする。
3. 個別の問題の背景にある社会構造や経緯についての理解を踏まえ、わが国の社会福祉制度・政策について適格な判断ができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」を前年度に履修すること、「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」「社会福祉援助技術現場実習」を同年度に履修することが必要がある。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	実習報告とグループスーパービジョン	
第3回	実習報告とグループスーパービジョン	
第4回	実習報告とグループスーパービジョン	
第5回	実習報告とグループスーパービジョン	
第6回	実習報告とグループスーパービジョン	
第7回	実習報告会準備、課題についての学習	
第8回	実習報告会準備、課題についての学習	
第9回	実習報告会準備、課題についての学習	
第10回	実習報告書「轍」作成	
第11回	実習報告会準備、課題についての事後学習	
第12回	実習報告会	
第13回	実習報告会	
第14回	実習報告会の振り返りと補足	
第15回	実習の総括	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常的な授業における取組状況、実習報告の内容、実習報告会準備への参画、実習報告書「轍」の内容を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SB) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SB)

15318

担当者名 / Instructor 鎮目 真人

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術演習」と連動しており、「社会福祉援助技術現場実習」の事後学習として位置づけられる。各自が実習の内容とそこで学んだことについてクラスで報告し、他の受講生と教員からのフィードバックを得て振り返りを行うなかで、問題についての理解を深め、自分自身への気づきを得る場とする。実習中に感じた疑問や新たに気づいた問題についての学習も行う。また、実習全体を評価して、達成できたことを確認するとともに、今後の課題についても検討する。さらに、実習報告書「轍」の作成と実習報告会を通して、実習の成果をまとめ、他の施設・機関や他分野で実習した人と学びを共有する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 福祉のサービス利用者(潜在的利用者)と地域を生態学的な視点をもって理解し、問題の解決・予防、状況改善のための具体的な方法(福祉実践)を提案することができる。
2. 福祉専門職に必要な基本的なスキルを身につけるとともに、今後、自分が取り組む課題を明確にする。
3. 個別の問題の背景にある社会構造や経緯についての理解を踏まえ、わが国の社会福祉制度・政策について適格な判断ができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」を前年度に履修すること、「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」「社会福祉援助技術現場実習」を同年度に履修することが必要がある。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	実習報告とグループスーパービジョン	
第3回	実習報告とグループスーパービジョン	
第4回	実習報告とグループスーパービジョン	
第5回	実習報告とグループスーパービジョン	
第6回	実習報告とグループスーパービジョン	
第7回	実習報告会準備、課題についての学習	
第8回	実習報告会準備、課題についての学習	
第9回	実習報告会準備、課題についての学習	
第10回	実習報告書「轍」作成	
第11回	実習報告会準備、課題についての事後学習	
第12回	実習報告会	
第13回	実習報告会	
第14回	実習報告会の振り返りと補足	
第15回	実習の総括	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常的な授業における取組状況、実習報告の内容、実習報告会準備への参画、実習報告書「轍」の内容を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

担当者名 / Instructor 岡田 まり

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術演習」と連動しており、「社会福祉援助技術現場実習」の事後学習として位置づけられる。各自が実習の内容とそこで学んだことについてクラスで報告し、他の受講生と教員からのフィードバックを得て振り返りを行うなかで、問題についての理解を深め、自分自身への気づきを得る場とする。実習中に感じた疑問や新たに気づいた問題についての学習も行う。また、実習全体を評価して、達成できたことを確認するとともに、今後の課題についても検討する。さらに、実習報告書「轍」の作成と実習報告会を通して、実習の成果をまとめ、他の施設・機関や他分野で実習した人と学びを共有する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 福祉のサービス利用者（潜在的利用者）と地域を生態学的な視点をもって理解し、問題の解決・予防、状況改善のための具体的な方法（福祉実践）を提案することができる。
2. 福祉専門職に必要な基本的なスキルを身につけるとともに、今後、自分が取り組む課題を明確にする。
3. 個別の問題の背景にある社会構造や経緯についての理解を踏まえ、わが国の社会福祉制度・政策について適格な判断ができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」を前年度に履修すること、「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」「社会福祉援助技術現場実習」を同年度に履修することが必要がある。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	実習報告とグループスーパービジョン	
第3回	実習報告とグループスーパービジョン	
第4回	実習報告とグループスーパービジョン	
第5回	実習報告とグループスーパービジョン	
第6回	実習報告とグループスーパービジョン	
第7回	実習報告会準備、課題についての学習	
第8回	実習報告会準備、課題についての学習	
第9回	実習報告会準備、課題についての学習	
第10回	実習報告書「轍」作成	
第11回	実習報告会準備、課題についての事後学習	
第12回	実習報告会	
第13回	実習報告会	
第14回	実習報告会の振り返りと補足	
第15回	実習の総括	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常的な授業における取組状況、実習報告の内容、実習報告会準備への参画、実習報告書「轍」の内容を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SD) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SD)

15320

担当者名 / Instructor 廣末 利弥

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術演習」と連動しており、「社会福祉援助技術現場実習」の事後学習として位置づけられる。各自が実習の内容とそこで学んだことについてクラスで報告し、他の受講生と教員からのフィードバックを得て振り返りを行うなかで、問題についての理解を深め、自分自身への気づきを得る場とする。実習中に感じた疑問や新たに気づいた問題についての学習も行う。また、実習全体を評価して、達成できたことを確認するとともに、今後の課題についても検討する。さらに、実習報告書「轍」の作成と実習報告会を通して、実習の成果をまとめ、他の施設・機関や他分野で実習した人と学びを共有する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 福祉のサービス利用者(潜在的利用者)と地域を生態学的な視点をもって理解し、問題の解決・予防、状況改善のための具体的な方法(福祉実践)を提案することができる。
2. 福祉専門職に必要な基本的なスキルを身につけるとともに、今後、自分が取り組む課題を明確にする。
3. 個別の問題の背景にある社会構造や経緯についての理解を踏まえ、わが国の社会福祉制度・政策について適格な判断ができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」を前年度に履修すること、「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」「社会福祉援助技術現場実習」を同年度に履修することが必要がある。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	実習報告とグループスーパービジョン	
第3回	実習報告とグループスーパービジョン	
第4回	実習報告とグループスーパービジョン	
第5回	実習報告とグループスーパービジョン	
第6回	実習報告とグループスーパービジョン	
第7回	実習報告会準備、課題についての学習	
第8回	実習報告会準備、課題についての学習	
第9回	実習報告会準備、課題についての学習	
第10回	実習報告書「轍」作成	
第11回	実習報告会準備、課題についての事後学習	
第12回	実習報告会	
第13回	実習報告会	
第14回	実習報告会の振り返りと補足	
第15回	実習の総括	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常的な授業における取組状況、実習報告の内容、実習報告会準備への参画、実習報告書「轍」の内容を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

担当者名 / Instructor 山田 尋志

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術演習」と連動しており、「社会福祉援助技術現場実習」の事後学習として位置づけられる。各自が実習の内容とそこで学んだことについてクラスで報告し、他の受講生と教員からのフィードバックを得て振り返りを行うなかで、問題についての理解を深め、自分自身への気づきを得る場とする。実習中に感じた疑問や新たに気づいた問題についての学習も行う。また、実習全体を評価して、達成できたことを確認するとともに、今後の課題についても検討する。さらに、実習報告書「轍」の作成と実習報告会を通して、実習の成果をまとめ、他の施設・機関や他分野で実習した人と学びを共有する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 福祉のサービス利用者（潜在的利用者）と地域を生態学的な視点をもって理解し、問題の解決・予防、状況改善のための具体的な方法（福祉実践）を提案することができる。
2. 福祉専門職に必要な基本的なスキルを身につけるとともに、今後、自分が取り組む課題を明確にする。
3. 個別の問題の背景にある社会構造や経緯についての理解を踏まえ、わが国の社会福祉制度・政策について適格な判断ができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」を前年度に履修すること、「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」「社会福祉援助技術現場実習」を同年度に履修することが必要がある。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	実習報告とグループスーパービジョン	
第3回	実習報告とグループスーパービジョン	
第4回	実習報告とグループスーパービジョン	
第5回	実習報告とグループスーパービジョン	
第6回	実習報告とグループスーパービジョン	
第7回	実習報告会準備、課題についての学習	
第8回	実習報告会準備、課題についての学習	
第9回	実習報告会準備、課題についての学習	
第10回	実習報告書「轍」作成	
第11回	実習報告会準備、課題についての事後学習	
第12回	実習報告会	
第13回	実習報告会	
第14回	実習報告会の振り返りと補足	
第15回	実習の総括	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常的な授業における取組状況、実習報告の内容、実習報告会準備への参画、実習報告書「轍」の内容を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

担当者名 / Instructor 池添 素

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術演習」と連動しており、「社会福祉援助技術現場実習」の事後学習として位置づけられる。各自が実習の内容とそこで学んだことについてクラスで報告し、他の受講生と教員からのフィードバックを得て振り返りを行うなかで、問題についての理解を深め、自分自身への気づきを得る場とする。実習中に感じた疑問や新たに気づいた問題についての学習も行う。また、実習全体を評価して、達成できたことを確認するとともに、今後の課題についても検討する。さらに、実習報告書「轍」の作成と実習報告会を通して、実習の成果をまとめ、他の施設・機関や他分野で実習した人と学びを共有する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 福祉のサービス利用者（潜在的利用者）と地域を生態学的な視点をもって理解し、問題の解決・予防、状況改善のための具体的な方法（福祉実践）を提案することができる。
2. 福祉専門職に必要な基本的なスキルを身につけるとともに、今後、自分が取り組む課題を明確にする。
3. 個別の問題の背景にある社会構造や経緯についての理解を踏まえ、わが国の社会福祉制度・政策について適格な判断ができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」を前年度に履修すること、「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」「社会福祉援助技術現場実習」を同年度に履修することが必要がある。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	実習報告とグループスーパービジョン	
第3回	実習報告とグループスーパービジョン	
第4回	実習報告とグループスーパービジョン	
第5回	実習報告とグループスーパービジョン	
第6回	実習報告とグループスーパービジョン	
第7回	実習報告会準備、課題についての学習	
第8回	実習報告会準備、課題についての学習	
第9回	実習報告会準備、課題についての学習	
第10回	実習報告書「轍」作成	
第11回	実習報告会準備、課題についての事後学習	
第12回	実習報告会	
第13回	実習報告会	
第14回	実習報告会の振り返りと補足	
第15回	実習の総括	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常的な授業における取組状況、実習報告の内容、実習報告会準備への参画、実習報告書「轍」の内容を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

担当者名 / Instructor 黒田 学

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術演習」と連動しており、「社会福祉援助技術現場実習」の事後学習として位置づけられる。各自が実習の内容とそこで学んだことについてクラスで報告し、他の受講生と教員からのフィードバックを得て振り返りを行うなかで、問題についての理解を深め、自分自身への気づきを得る場とする。実習中に感じた疑問や新たに気づいた問題についての学習も行う。また、実習全体を評価して、達成できたことを確認するとともに、今後の課題についても検討する。さらに、実習報告書「轍」の作成と実習報告会を通して、実習の成果をまとめ、他の施設・機関や他分野で実習した人と学びを共有する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 福祉のサービス利用者（潜在的利用者）と地域を生態学的な視点をもって理解し、問題の解決・予防、状況改善のための具体的な方法（福祉実践）を提案することができる。
2. 福祉専門職に必要な基本的なスキルを身につけるとともに、今後、自分が取り組む課題を明確にする。
3. 個別の問題の背景にある社会構造や経緯についての理解を踏まえ、わが国の社会福祉制度・政策について適格な判断ができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」を前年度に履修すること、「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」「社会福祉援助技術現場実習」を同年度に履修することが必要がある。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	実習報告とグループスーパービジョン	
第3回	実習報告とグループスーパービジョン	
第4回	実習報告とグループスーパービジョン	
第5回	実習報告とグループスーパービジョン	
第6回	実習報告とグループスーパービジョン	
第7回	実習報告会準備、課題についての学習	
第8回	実習報告会準備、課題についての学習	
第9回	実習報告会準備、課題についての学習	
第10回	実習報告書「轍」作成	
第11回	実習報告会準備、課題についての事後学習	
第12回	実習報告会	
第13回	実習報告会	
第14回	実習報告会の振り返りと補足	
第15回	実習の総括	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常的な授業における取組状況、実習報告の内容、実習報告会準備への参画、実習報告書「轍」の内容を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

精神保健福祉援助演習 (S)

14152

担当者名 / Instructor 山本 耕平

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

精神科ソーシャルワーカーの養成において重要な役割を果たすのが精神保健福祉援助演習である。精神保健福祉に関する他の科目で学んだ理論を、教員と学生の共同作業により具象化し、精神科ソーシャルワーカーの専門性(価値・倫理、知識、技術)を培う。当事者の生活と権利を護り、当事者のパートナーとして実践を展開するために必要な倫理や価値、さらに技術をディベート、グループワーク、ロールプレイ等々を活用し獲得することを目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

揺れながら共に学び、共に育つ。
 討論できる精神科ソーシャルワーカーとして育つ。
 生きづらさを持つ個々の精神障害者と同様の課題を持つ仲間達が、社会に参加する力を獲得するプロセスを提示できる力を獲得する。
 専門性を獲得する為に自己に求められている課題と対峙する力を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

精神保健福祉実習は本科目と同時に履修しなければならない。
 他の精神保健福祉士課程専門科目をできるだけ事前に、もしくは本科目と同時に履修する必要がある。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	オリエンテーション	援助演習の約束 自己開示
第2回	精神障害者の生活と支援	KJ法 当事者理解
第3回	精神障害者の生活と支援	リフレーミング ストレngths
第4回	支援関係形成とコミュニケーション・スキル	話す人としての役割 聞く人としての役割
第5回	支援関係形成とコミュニケーション・スキル	バイステック7原則 循環的關係
第6回	支援関係形成とコミュニケーション・スキル	非言語的コミュニケーション ロールプレイ
第7回	課題の発見・分析と支援計画 - 統合失調症 -	マッピング技法 ICF 資源
第8回	課題の発見・分析と支援計画 - アディクション -	マッピング技法 家族支援
第9回	課題の発見・分析と支援計画 - 思春期・青年期 -	マッピング技法 家族システム 多機関連携
第10回	保健所におけるソーシャルワーク事例	危機対応 受療支援 退院促進
第11回	精神科病院におけるソーシャルワーク事例	権利擁護 家族調整 住居設定
第12回	社会復帰施設におけるソーシャルワーク事例	柔らかな危機対応 自立支援 結婚 ステイグマ
第13回	自己覚知	自身の長所・短所 ゲーム 他己紹介
第14回	自己覚知	強さに視点をあてた自己理解
第15回	前期のまとめ	実習前課題
第16回	グループワーク	SST 日常生活場面 デイクア
第17回	グループワーク	心理教育 統合失調症圏 思春期・青年期圏 アディクション圏
第18回～第23回	スーパービジョン	限界と課題 自己の可能性
第24回～第29回	各領域でのソーシャルワーク	実習報告
第30回	まとめ	精神保健福祉士としての価値

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習への参加回数と参加意欲で判断する

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

精神科ソーシャルワーカー(精神保健福祉士)として育っていく為に、常に当事者の暮らしに関心を持って欲しい。
 この演習は、精神障害者の生活支援スキルを学ぶことを目的としており、各自の悩みを解決する場ではない。

教科書 / Textbooks

なし

参考書 / Reference Books

授業のなかで指示する

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

精神保健福祉援助実習 (S)

14153

担当者名 / Instructor 山本 耕平

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

精神保健福祉援助実習は、通年の授業と180時間以上の現場実習で構成されている。現場実習は、精神科ソーシャルワーカー（精神保健福祉士）として、精神障害者の伴走者となる初めての体験である。180時間という限定された時間であるが精神障害を持つ当事者や家族と直接関わるなかで、講義で学んだ理論や演習で間接的に体験した知識を活用することが求められる。その直接的な関わりの中で、専門職としてのスキルや価値、倫理を高め、支援者として自らの課せられている課題を知ることが必要である。

到達目標 / Attainment Objectives

精神障害者の生活課題を理解し、地域生活支援のありかたにつき考察する力を獲得する。
医療・生活の現場における専門職の実践課題と現状につき分析する力を獲得する。
支援者として自らが求められている課題を明確にできる。
最低限の倫理や義務につき理解し護ることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

精神保健福祉援助演習は本科目と同時に履修しなければならない。
他の精神保健福祉士課程専門科目をできるだけ事前に、もしくは本科目と同時に履修する必要がある。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	オリエンテーション	実習の意義 目的 一年間の課題
第2回	事前学習の内容と方法	現場が求めている実習生 現場が求めない実習生 実習に期待すること KJ法
第3回	事前学習 - 実習計画立案にあたって -	実習先の情報収集 実習報告からの学び
第4回	事前学習 - 精神障害者と家族に関する文献学習 -	精神科医療 精神保健福祉 家族間力動 偏見
第5回	事前学習 - 精神障害者の地域生活資源に関する文献学習	精神保健福祉法 自立支援法
第6回	実習計画の立て方	目的、意義、目標、課題、評価方法
第7回	実習計画の発表	目的 意義 目標 課題
第8回	実習計画の再発表	目的 意義 目標 課題
第9回	精神科ソーシャルワーカー(精神保健福祉士)の視点と実践	パートナーシップ バウンダリー
第10回	精神科ソーシャルワーカー(精神保健福祉士)の視点と実践	抵抗 逆抵抗 共感 自己覚知
第11回	精神科ソーシャルワーカー(精神保健福祉士)の視点と実践	マイクロカウンセリング技法
第12回	精神科ソーシャルワーカー(精神保健福祉士)の視点と実践	バーンアウト要因
第13回	実践と記録	客観的描写 自己評価 気づき(課題発見)
第14回	実習生の心得	倫理、課題、スーパービジョン
第15回	実習直前ガイダンス	手続き、必要書類、様々な状況への対処
第16～17回	実習の振り返り	当事者 支援者 自己 地域
第18～23回	実習報告	実習概要 学び 成長 今後の課題
第24～26回	実習報告会	報告の準備、報告
第27～29回	共通課題についてのグループ演習	視点 対処法 倫理 自己覚知など
第30回	総括的演習 まとめ	今後の課題

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

実習前に、実習施設を訪問し、オリエンテーションを受けるとともに、実習計画について相談する。
前期には、実習に関連する事前学習を行い、その内容の発表準備とレポート作成が必要。また、実習計画書の作成は必須。後期には、実習についてのクラス発表の準備、実習報告会の準備、実習報告書の作成を行う。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習活動への参加、事前学習レポート、実習計画、実習報告、実習記録などを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

文献学習とは、各自が文献を検索し、自己学習結果を報告することを意図する。
実習計画は、グループで発表し指摘を受けた項目を考慮し再発表する機会を与える。
実習には、受講生が主体的に取り組むことがなによりも求められる。

教科書 / Textbooks

指定しない

参考書 / Reference Books

授業進行と共に紹介する

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

精神保健福祉現場実習 (S)

20286

担当者名 / Instructor 山本 耕平

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

事前・事後の精神保健福祉援助実習(s)の一環として保健・医療施設および社会復帰施設等福祉施設での現場実習を行う。

到達目標 / Attainment Objectives

精神保健福祉士として必要な知識について理解を深めると共に、相談援助その他の技術を習得する。
 実習での具体的な体験等を、専門的援助技術として概念化、理論化し、体系立てていくことができる能力を育てる。
 職業倫理を身につけ、専門職としての自覚を育てる。
 関連分野の専門職種との連携のあり方について理解を深める。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

現代社会学研究 (S) § 応用社会学特論 (SE)

31708

担当者名 / Instructor 佐々木 嬉代三

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

現代社会の特性を「リスク」という観点から読み解こうとしたU.ベックの著書を共通文献とし、学生が章別分担任する形で授業を進めたい。但し、出席する学生の数の大小によって進め方の細部は異なるであろう。第1回の授業には全員参加が望まれる。

到達目標 / Attainment Objectives

現代社会がいかなる社会か、それを考える力を培って欲しい。同時に分担任報告する学生が、自らの研究課題に結び付けて、内容豊かな報告を行うことが期待される。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	自己紹介、授業の進め方の確認、分担任体制の確立	
2	『リスク社会』第1部 文明という火山	第1章 富の分配と危険の分配の論理
3	同 上(その2)	第1章の続き
4	同 上(その3)	第2章 危険社会における政治的知識論
5	同 上(その4)	第2章の続き
6	第2部 社会的不平等の個人化	第3章 階級と階層の彼方
7	同 上(その2)	第3章の続き
8	同 上(その3)	第4章 わたしはわたし 家庭の内と外における男女関係
9	同 上(その4)	第4章の続き
10	同 上(その5)	第5章 生活状況と生き方のモデル
11	同 上(その6)	第6章 職業労働の脱標準化 職業教育と仕事の未来
12	第3部 自己内省的な近代化 科学と政治が普遍化している	第7章 科学は真理と啓蒙から遠く離れてしまったか
13	同 上(その2)	第7章の続き
14	同 上(その3)	第8章 政治の枠が取り払われる
15	同 上(その4)	第8章の続き

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	50 %	
平常点評価	50 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
危険社会	ウルリヒ・ベック / 法政大学出版局 / 4-588-00609-6 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
リキッド・モダニティ	ジークムント・バウマン / 大月書店 / 4-272-43057-2 /
リキッド・ライフ	ジークムント・バウマン / 大月書店 / 4-272-43074-1 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Instructor: Julie Higashi (Professor, Faculty of Social Sciences)

What do social entrepreneurs do, and why are they becoming more active than ever today around the world? Ordinary people are taking actions to solve the social problems where governments and bureaucracies have failed. They have founded nonprofit organizations to support their activities that can help the weakest, the poorest, and the ignored population. We will read about the characteristics of social entrepreneurs; watch a short clip of specific cases (DVD, 10min. each); and discuss about the topic throughout the course.

到達目標 / Attainment Objectives

We will explore how social entrepreneurs find ways that lead to solutions. By the end of the course, students are expected to analyze the differences and similarities between social entrepreneurship and other forms of entrepreneurship (business).

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

This course is conducted *entirely in English* and is open to both graduate and advanced undergraduate students, including non-English-fukusenko students. All required language courses should be completed before taking this course. Your participation is a must to make this course successful. Please come to class well prepared with your reading assignment *completed* beforehand.

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Introduction: What is social entrepreneurship?	Explanation of Attainment Objectives, Procedures and Grading Methods
2	reading: Restless People	
3	reading: The Role of the Social Entrepreneur (1)	
4	India: Train platform schools (DVD 15min.)	NPO: South Asian Coalition on Child Servitude
5	New York: Homelessness and Housing	NPO: The Common Ground (DVD 10min)
6	Thailand: Education for Girls (DVD) 15min	Prostitution and Child/Women Trafficking
7	reading: The Role of the Social Entrepreneur (2)	Review and In-Class Test No. 1 (20%)
8	Bangladesh: The banker to the poor (DVD 15 min.)	
9	Mini research on Grameen Bank, Micro Credit	
10	Reading and Discussion: "Poverty is a threat to Peace" (1)	
11	Reading and Discussion "Poverty is a threat to Peace" (2)	
12	Reading and Discussion: Six Qualities of Successful Social Entrepreneurs	
13	Individual Presentation (20%)	
14	Reading and Discussion: The Emergence of the Citizen Sector	
15		In-Class Verification Exam (20%) Final Verification of Attainment Levels and post-exam lecture

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	In-Class Verification Test 1 (20%) In-Class Verification Text 2 (20%) Participation(40%), Presentation(20%)

Graduate Students need to write a paper in addition to doing a presentation

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

We will be watching short visual clips (programs) in class so your attendance is a must.

教科書 / Textbooks

書名 / Title

How to Change the World: Social Entrepreneurs
and the Power of New Ideas

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

David Bornstein / Oxford Uni. Press / 978-0-19-533476-0 / Paperback edition (2007)

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Useful web sites: <http://www.pbs.org/opb/thenewheroes/>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Office hours will be announced in class and written on the syllabus

その他 / Others

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Instructor: Julie Higashi (Professor, Faculty of Social Sciences)

What do social entrepreneurs do, and why are they becoming more active than ever today around the world? Ordinary people are taking actions to solve the social problems where governments and bureaucracies have failed. They have founded nonprofit organizations to support their activities that can help the weakest, the poorest, and the ignored population. We will read about the characteristics of social entrepreneurs; watch a short clip of specific cases (DVD, 10min. each); and discuss about the topic throughout the course.

到達目標 / Attainment Objectives

We will explore how social entrepreneurs find ways that lead to solutions. By the end of the course, students are expected to analyze the differences and similarities between social entrepreneurship and other forms of entrepreneurship (business).

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

This course is conducted *entirely in English* and is open to both graduate and advanced undergraduate students, including non-English-fukusenko students. All required language courses should be completed before taking this course. Your participation is a must to make this course successful. Please come to class well prepared with your reading assignment *completed* beforehand.

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Introduction: What is social entrepreneurship?	Explanation of Attainment Objectives, Procedures and Grading Methods
2	reading: Restless People	
3	reading: The Role of the Social Entrepreneur (1)	
4	India: Train platform schools (DVD 15min.)	NPO: South Asian Coalition on Child Servitude
5	New York: Homelessness and Housing	NPO: The Common Ground (DVD 10min)
6	Thailand: Education for Girls (DVD) 15min	Prostitution and Child/Women Trafficking
7	reading: The Role of the Social Entrepreneur (2)	Review and In-Class Test No. 1 (20%)
8	Bangladesh: The banker to the poor (DVD 15 min.)	
9	Mini research on Grameen Bank, Micro Credit	
10	Reading and Discussion: "Poverty is a threat to Peace" (1)	
11	Reading and Discussion "Poverty is a threat to Peace" (2)	
12	Reading and Discussion: Six Qualities of Successful Social Entrepreneurs	
13	Individual Presentation (20%)	
14	Reading and Discussion: The Emergence of the Citizen Sector	
15		In-Class Verification Exam (20%) Final Verification of Attainment Levels and post-exam lecture

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	In-Class Verification Test 1 (20%) In-Class Verification Text 2 (20%) Participation(40%), Presentation(20%)

Graduate Students need to write a paper in addition to doing a presentation

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

We will be watching short visual clips (programs) in class so your attendance is a must.

教科書 / Textbooks

書名 / Title

How to Change the World: Social Entrepreneurs
and the Power of New Ideas

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

David Bornstein / Oxford Uni. Press / 978-0-19-533476-0 / Paperback edition (2007)

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Useful web sites: <http://www.pbs.org/opb/thenewheroes/>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Office hours will be announced in class and written on the syllabus

その他 / Others

担当者名 / Instructor 赤井 正二

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

社会学、経済学、政治学などのディシプリンの中での研究がますます細分化するに依りて、少なくともそれらを概観する観点もまた求められる。現代という時代が歴史的経過の堆積であるのと同じように、現代という時代についての問題意識もまた、社会科学の総合的な経過の上で成立している。社会科学を総合的に考える場合、日本の社会科学が輸入学問として始まり、今でも欧米の研究を学ぶことに依存しているという事情を無視することはできない。この授業では、私たちに避けることのできない「日本」という状況と社会科学との関係を学びたい。

具体的には、以下の文献を、精読・要約・解説しながら進める。

丸山真男『日本の思想』岩波新書、1961年。

(副読本、ハリー・ハルトゥーニアン『近代による超克 戦間期日本の歴史・文化・共同体 上』(梅森直之訳)岩波書店、2007年。)

到達目標 / Attainment Objectives

「社会的科学研究」の共通の基礎となる研究史と論点を学び、論文作成の前提となる広い視野を形成すること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

なし

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「社会科学」と「社会思想」	テキストの紹介、授業の進め方
2	第3章 思想のあり方について1	イメージと現実、ササラ型とタコツボ型
3	第3章 思想のあり方について2	国内的鎖国と国際的開国
4	第1章 日本の思想 まえがき	「伝統」と「外来」、「開国」の意味
5	第1章 日本の思想 第一節	無構造の「伝統」、逆説や反語の機能転換
6	第1章 日本の思想 第二節	「国体」の創出
7	第1章 日本の思想 第三節	無責任の体系、共同体的心情
8	日本の思想 第四節	二つの思考様式の対立
9	前半まとめ	補足、「青い山脈」
10	第4章 「である」ことと「する」こと1	「である」社会と「する」組織
11	第4章 「である」ことと「する」こと2	「する」価値と「である」価値
12	『近代による超克』第1章 モダンライフという幻想1	「文化生活」
13	『近代による超克』第1章 モダンライフという幻想2	「街頭生活」
14	『近代による超克』第1章 モダンライフという幻想3	「消費生活」
15	現代社会と『日本の思想』	まとめ、小論文作成

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『日本の思想』	丸山真男 / 岩波新書 / /
『近代による超克 戦間期日本の歴史・文化・共同体 上』	ハリー・ハルトゥーニアン / 岩波書店 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

akai@ss.ritsume.ac.jp

その他 / Others

社会学基礎理論 (S) § 応用社会学特論 (SC)

31678

担当者名 / Instructor 崎山 治男

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

社会学的な物の見方とは、どのようなものか？「社会学的」という表現をしばしば耳にするが、その答えは定かではない。それは第1には、これまでの社会学の歴史の中でも様々な見解の対立があったことがある。また第2には、近年の学問的状况の中での社会学の研究対象の多様化にもよる。このような背景から、本講義は「社会学とは何か？」という基本的な問いに、社会学史の立場から取り組んでいくことをめざす。社会学の基本的な発想法や思考法を学びたい、幅広い専門分野をもつ学生・院生の受講を期待する。15回の講義のなかで「社会を社会学的に見る方法」について体系的な知識の獲得を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・社会学説史に即して、「社会学的」な問いの立て方を身につける。
- ・「ミクロ」対「マクロ」、「主体」対「構造」等の、社会学理論の基礎的な対立軸を理解する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

- ・社会学史、基礎社会学などを取っていること(あるいは平行して取る)ことが望ましい。ただ、義務ではない。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	イントロダクション	
2	近代社会の登場と社会学	「社会的」なるものの登場と実証主義
3	社会実証主義と方法論的集合主義	社会を「モノ」として捉える欲望
4	近代社会の病理と連帯	時代診断の学としての社会学
5	方法論的個人主義と理解社会学	他者を「知る」ことの(不)可能性
6	近代社会のエートスと行為論的視座	近代を生み出す倫理・近代が生み出す倫理
7	主意主義的行為理論と目的論的機能主義	行為と機能の関連を目指して
8	社会の体系論的 - システム論的分析	社会の「総体」を把握する欲望
9	因果的機能分析と中範囲の理論	社会学が「社会学」出来る範囲とは
10	社会の意味論的分析	「私」と「他者」との並立可能性
11	社会的過程と自己	意味を生み出し続ける社会
12	リアリティのミクロ社会学(1)	私たちが作る社会
13	リアリティのミクロ社会学(2)	演技としての行為・社会
14	社会構築主義の功罪	「構築」と「正義」のはざま
15	構造-機能主義と再帰的自己	モダニティとアイデンティティ

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	70 %	社会学の持つ「構え」を習得しているか。ある思想と、その前後、時代背景とのつながりを理解出来ているかで評価する。
平常点評価	30 %	講義中に課す課題や、コミュニケーション・ペーパーの提出状況など。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

- ・社会学理論の「見かけ」の難しさに惑わされないこと。
- ・「社会」の理論である限り、必ず身近に応用出来るものであることを意識すること。
- ・「分かる」まで説明するので、コミュニケーションペーパーなどで随時質問すること。

教科書 / Textbooks

特になし。毎回レジュメを配布する。

参考書 / Reference Books

特になし。毎回のレジュメで各回の内容に関する参考文献を指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

社会学史研究 (S) § 応用社会学特論 (SA)

31706

担当者名 / Instructor 宝月 誠

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

古典および現代の代表的な社会学理論について解説したテキストを一通り学んだのちに、参加者に関心のある理論を報告してもらい、全員で議論を行い、理解を深める。

到達目標 / Attainment Objectives

代表的な社会学理論の考え方を理解できる。
自らの関心のある理論を他の理論と比較することで、幅広い視点から理論を深める。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

できれば学部講義の社会学理論・社会学史

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	課題の設定	社会学理論のタイプ・理論の学び方
第2回	古典理論 その1	デュルケームの理論
第3回	古典理論 その2	ヴェーバーの理論
第4回	古典理論 その3	シカゴ学派とミード
第5回	パーソンズの理論	構造 機能分析、システム分析
第6回	ゴフマンの理論	相互作用分析
第7回	コールマンの理論	合理的選択理論
第8回	フーコーの知の分析	考古学・統治論
第9回	ブルデューの理論	界の理論・関係性
第10回 14回	参加者各自の報告	各自の関心のある社会学理論の報告と論議
第15回	主要な理論の整理と総括	社会学理論のタイプと特徴の確認

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	50 %	レポートの内容に理論や方法論がどれだけ生かされているのか
平常点評価	50 %	授業への貢献度

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

理論を単に知識として学ぶのではなく、それをどのように活用するのかということ考えてほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
クロニクル社会学	那須 壽編 / 有斐閣 / 4-641-12041-2 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新しい社会学のあゆみ	新 睦人編 / 有斐閣 / 4-647-12302-0 /

参考書は授業の中で適宜紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

e-mailを使用

その他 / Others

社会福祉学研究 (S) § 応用社会学特論 (SB)

31072

担当者名 / Instructor 岡田 まり

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

社会の諸問題とそれへの対応は、領域ごとに別個のもののようにみえるかもしれない。また、社会福祉学には幅広い領域があり、研究のアプローチや方法もさまざまである。しかし、実際には、いろんな事柄が相互に関連し影響しあっている。社会福祉の研究や実践では、それらを見きわめるための目と知識、研究・実践のためのスキルが必要である。この授業では、そのような領域を超えて必要な共通基盤の習得に取り組むことを通して、受講生が各自の研究テーマを追求するための支えとなりたい。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・社会福祉とは何か、福祉的な見方とはどのようなものか、説明できる。
- ・各自の研究テーマについて、ミクロ・メゾ・マクロのそれぞれのレベルでの課題と、レベル間の関わりについて説明できる。
- ・各自の研究テーマと資源・状況に適した研究方法を選ぶことができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション	授業内容の紹介、テキストの分担箇所・発表のスケジュール決定
2, 3	権利擁護	人権、法、歴史、価値倫理、権利擁護
4, 5	生活構造	生活をとらえる視点、問題の捉え方、自立支援、社会保障
6, 7	相談援助	対人援助の視点、ソーシャルワークの機能、援助の展開、技法
8, 9	地域支援	制度、政策、計画、社会資源、ネットワーク
10, 11	福祉経営	組織、経営、法人、サービス評価
12, 13, 14	福祉研究	文献研究、社会調査、実践研究(フィールド調査、介入研究)
15	授業の振り返りと今後の課題	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常的な授業における取組(演習・発表)50% レポート50%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新社会福祉援助の共通基盤 上[第2版]	社団法人日本社会福祉士会(編) / 中央法規 / 978-4-8058-3126-7 /
新社会福祉援助の共通基盤 下[第2版]	社団法人日本社会福祉士会(編) / 中央法規 / 978-4-8058-3127-4 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

メール:m-okada@ss.ritsume.ac.jp

その他 / Others

担当者名 / Instructor 奥村 信幸

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

文献購読と個人によるテーマ研究(ケーススタディ)によって、ICT、ネットワーク社会、サイバー社会などと言われる構造を理解し、その中でプライバシー、表現の自由、通信の秘密などが直面する問題を理解し、解決策を模索する。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1)通信と放送の融合、ブロードバンドの発展などが進むICT化・サイバー社会の功罪についてビジネス的側面、社会制度的側面から理解する。
- 2)テクノロジーの発達と表現・通信の自由がどのような関係にあるのか構造を理解する。
- 3)デジタル時代の著作権の現状を理解し、そのあるべき姿を探る。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	導入のはなし	
第2回	文献購読と討論	
第3回	文献購読と討論	
第4回	文献購読と討論	
第5回	文献購読と討論	個人研究企画書課題発表
第6回	文献購読と討論	個人研究企画書検討
第7回	文献購読と討論	個人研究企画書検討
第8回	文献購読と討論	個人研究企画書検討
第9回	文献購読と討論	個人研究企画書締切
第10回	文献購読と討論	
第11回	個人テーマ発表と討論	
第12回	個人テーマ発表と討論	
第13回	個人テーマ発表と討論	
第14回	個人テーマ発表と討論	
第15回	まとめの議論	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	40 %	個人テーマ研究レポート 内容をクラスで発表し、討論の内容を踏まえて最終レポートとして提出する。
平常点評価	60 %	クラス内発表: 40 % ・文献購読発表と個人テーマ研究発表 討論への参加: 20 %
文献購読と個人テーマ研究発表の割合は受講者数によって調整する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

- ・テクノロジー関連のニュースを注意してフォローすること。
- ・iPhoneなどの新しいガジェット、Twitterや他のSNSなども使って親しんでおくことが望ましい。
- ・2ちゃんねるを熱心に関覧してもあまり意味がない。

教科書 / Textbooks**参考書 / Reference Books**

クラス内で指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**

メール okumuran[at]ss.ritsumeai.ac.jp ([at]を@になおして下さい)

その他 / Others

(教)介護等体験の研究 (GA)

11066

担当者名 / Instructor 朝野 浩

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「介護等体験」は、平成10(1998)年度より施行された「介護等体験特例法」に基づき、義務教育学校(小・中学校)の教員になるための必須要件となった制度である。この制度化の位置付けは、「人の心の痛みがわかる人づくりの実現に資することを目的とする」(文部科学省)とされている。また、その社会的背景として、急速に進行している少子高齢化の現実がある。近い将来、この高齢社会を支える担い手の減少状況を見据えた時、教育(とりわけ義務教育課程)における福祉的視点と実践的態度の育成が焦眉の課題であり、教員の資質として期待されている。本授業は、「介護等体験実習」の事前指導として、実習をより充実させるための理論的・実践的内容で構成する。

到達目標 / Attainment Objectives

「介護等体験」を行う場所、「特別支援学校」と「社会福祉施設」についての知識(理念・実態・課題等)を得ることにより、教職を目指すものとして、障害のある人々や高齢者・障害者・幼児児童等に対する理解を深め、「介護等体験」への意欲的姿勢を培う。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

小学校、中学校教員免許状の取得に必要な科目

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
9月28日(火)	イントロダクション(オリエンテーション): 「介護等体験」の位置付けとその意義。実施までの流れと登録手続きおよび受講クラスの確定	「2011年度体験者向け 介護等体験の手引き」(冊子) 風疹抗体検査の手続きおよび介護等体験参加申し込み(登録)
10月12日(火)	「特別支援学校」について (講義) - 「特別支援教育」の現状及び障害のある幼児児童生徒の実態と理解	障害観の変遷および自分にとっての障害とは
10月26日(火)	「特別支援学校」について (講義) - 「特別支援学校」の概要及び現状理解と「介護等体験」実施の様子	【中間レポート】「3つのキーワードおよび障害について思うこと」
11月9日(火)	「社会福祉施設」について (講義) - 高齢者福祉施設の現状と課題	施設長等による外部講師の講義
11月23日(火)	「社会福祉施設」について (講義) - 障害者福祉施設の現状と課題	施設長等による外部講師の講義
12月7日(火)	介護等体験実施に向けての自己理解(先輩の体験談等を聞いてグループワーク等)	座席指定・グループ編成
12月21日(火)	「介護等体験」参加するに当たっての心構えとまとめ(講義・先輩の体験談等) 【終了レポート提出-当日課題提示】	「介護等体験の手引き」「フィリア」「よくわかる社会福祉施設」講義配布資料

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

特別支援学校インターンシップおよび障害児サークル・ボランティアに積極的に参加

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	「介護等体験」は教職を目指す者としての最初の就職活動として取り組む心構えが必要である。その意義をよく理解し、熱意を持って授業に臨めたかどうかを最大の評価基準とする。原則として、全出席を最重要視する。 評価方法は下記「備考欄」の内容を踏まえて「P/F評価」とする。 公欠事由: 出席停止(感染症)に該当する病気 忌引き(2親等以内の血族・姻族) 災害 交通機関の延着 教育実習等(4回生以上、大学で確認)

【出席要件】

- ・5回以上の出席及び最終日の出席と「最終レポート」の提出をもって「P」評価とする。
そのため原則としてすべての授業への出席が必須となる。毎回、出席カード等(コミュニケーションカード)を持って出席確認を行う。
- ・事前届出の有無を問わず、3回以上欠席した場合は「F評価」とする。ただし、公欠事由を除く。
- ・また、「遅刻」「QRコード票無添付」「私語」についても厳しく評価を行なう。
QRコード票についても、2回添付忘れの場合には、別途レポート課題を課し、提出をもって評価対象とする。
- ・20分超える「遅刻」の場合についても、理由の如何を問わず入室を認めない(欠席扱い)。
- ・「私語」「携帯電話」「飲食」などについても厳しく評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

小学校・中学校教員免許取得のために義務付けられている科目であるが、教職を目指す者として、今日の社会的課題である「ノーマライゼーシ

ン理念の具現化」に向けた実践的経験の場として自らの人権感覚を磨き、常識ある行動をとれるよう、積極的な姿勢を望む。

教科書 / Textbooks

テキストは使用しないが、「介護等体験の手引き」(改訂版)を参考に使う。
また、2回目以降、適宜資料配付を行う。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
特別支援教育基本用語100	社団法人日本発達障害福祉連盟 / 日本文化科学社 / /
発達障害白書2009版2010版	上野一彦他 / 明治図書 / /

「フィリア」「よくわかる社会福祉施設」「手引き冊子」は、授業時において別途配布する(介護等体験履修料@3000-に中に含む)。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

授業で学ぶ内容をより深めるために、各特別支援学校ホームページや児童福祉施設・障害者福祉・高齢者福祉などの関連したページを検索し参照することを勧める。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

<http://webct.ritsumeai.ac.jp/webct/entryPageIns.dowebct>

その他 / Others

出席管理には「QRコード・シール」を使用する。

受講生は必ず毎回「QRコード・シール」を持参すること。

2回忘れた場合には別途レポート改題を課し評価対象とする。

(教)介護等体験の研究 (GB)

11638

担当者名 / Instructor 朝野 浩

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「介護等体験」は、平成10(1998)年度より施行された「介護等体験特例法」に基づき、義務教育学校(小・中学校)の教員になるための必須要件となった制度である。この制度化の位置付けは、「人の心の痛みがわかる人づくりの実現に資することを目的とする」(文部科学省)とされている。また、その社会的背景として、急速に進行している少子高齢化の現実がある。近い将来、この高齢社会を支える担い手の減少状況を見据えた時、教育(とりわけ義務教育課程)における福祉的視点と実践的態度の育成が焦眉の課題であり、教員の資質として期待されている。本授業は、「介護等体験実習」の事前指導として、実習をより充実させるための理論的・実践的内容で構成する。

到達目標 / Attainment Objectives

「介護等体験」を行う場所、「特別支援学校」と「社会福祉施設」についての知識(理念・実態・課題等)を得ることにより、教職を目指すものとして、障害のある人々や高齢者・障害者・幼児児童等に対する理解を深め、「介護等体験」への意欲的姿勢を培う。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

小学校、中学校教員免許状の取得に必要な科目

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
9月29日(水)	イントロダクション(オリエンテーション): 「介護等体験」の位置付けとその意義。参加するにあたっての全般的な注意事項。実施までの流れと登録手続きおよび受講クラスの確定	「2011年度体験者向け 介護等体験の手引き」(冊子) 風疹抗体検査の手続きおよび介護等体験参加申し込み(登録)
10月13日(水)	「特別支援学校」について (講義) - 「特別支援教育」の現状及び障害のある幼児児童生徒の実態と理解	障害観の変遷および自分にとっての障害とは
10月27日(水)	「特別支援学校」について (講義) - 「特別支援学校」の概要及び現状理解と「介護等体験」実施の様子	【中間レポート】「3つのキーワードおよび障害について思うこと」
11月10日(水)	「社会福祉施設」について (講義) - 高齢者福祉施設の現状と課題	施設長等による外部講師の講義
11月24日(水)	「社会福祉施設」について (講義) - 障害者福祉施設の現状と課題	施設長等による外部講師の講義
12月8日(水)	介護等体験実施に向けての自己理解(先輩の体験談等を聞いてグループワーク等)	座席指定・グループ編成
12月22日(水)	「介護等体験」参加するに当たっての心構えとまとめ(講義・先輩の体験談等) 【終了レポート提出-当日課題提示】	「介護等体験の手引き」「フィリア」「よくわかる社会福祉施設」講義配布資料

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

特別支援学校インターンシップおよび障害児サークル・ボランティアに積極的に参加

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	「介護等体験」は教職を目指す者としての最初の就職活動として取り組む心構えが必要である。その意義をよく理解し、熱意を持って授業に臨めたかどうかを最大の評価基準とする。原則として、全出席を最重要視する。 評価方法は下記「備考欄」の内容を踏まえて「P/F評価」とする。 公欠事由: 出席停止(感染症)に該当する病気 忌引き(2親等以内の血族・姻族) 災害 交通機関の延着 教育実習等(4回生以上、大学で確認)

【出席要件】

- ・5回以上の出席及び最終日の出席と「最終レポート」の提出をもって「P」評価とする。
そのため原則としてすべての授業への出席が必須となる。毎回、出席カード等(コミュニケーションカード)を持って出席確認を行う。
- ・事前届出の有無を問わず、3回以上欠席した場合は「F評価」とする。ただし、公欠事由を除く。
- ・また、「遅刻」「QRコード票無添付」「私語」についても厳しく評価を行なう。
QRコード票についても、2回添付忘れの場合には、別途レポート課題を課し、提出をもって評価対象とする。
- ・20分超える「遅刻」の場合についても、理由の如何を問わず入室を認めない(欠席扱い)。
- ・「私語」「携帯電話」「飲食」などについても厳しく評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

小学校・中学校教員免許取得のために義務付けられている科目であるが、教職を目指す者として、今日の社会的課題である「ノーマライゼーシ

ン理念の具現化」に向けた実践的経験の場として自らの人権感覚を磨き、常識ある行動をとれるよう、積極的な姿勢を望む。

教科書 / Textbooks

テキストは使用しないが、「介護等体験の手引き」(改訂版)を参考に使う。
また、2回目以降、適宜資料配付を行う。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
特別支援教育基本用語100	社団法人日本発達障害福祉連盟 / 日本文化科学社 / /
発達障害白書2009版2010版	上野一彦他 / 明治図書 / /

「フィリア」「よくわかる社会福祉施設」「手引き冊子」は、授業時において別途配布する(介護等体験履修料@3000-に中に含む)。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

授業で学ぶ内容をより深めるために、各特別支援学校ホームページや児童福祉施設・障害者福祉・高齢者福祉などの関連したページを検索し参照することを勧める。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

<http://webct.ritsumeai.ac.jp/webct/entryPageIns.dowebct>

その他 / Others

出席管理には「QRコード・シール」を使用する。

受講生は必ず毎回「QRコード・シール」を持参すること。

2回忘れた場合には別途レポート改題を課し評価対象とする。

(教)介護等体験の研究 (GC)

11664

担当者名 / Instructor 朝野 浩

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「介護等体験」は、1998年度より施行された「介護等体験特例法」に基づき、義務教育学校(小・中学校)の教員になるための必須要件となった制度である。この制度化の位置付けは、「人の心の痛みがわかる人づくりの実現に資することを目的とする」(文部科学省)とされている。また、その社会的背景として、急速に進行している少子高齢化の現実がある。近い将来、この高齢社会を支える担い手の減少状況を見据えた時、教育(とりわけ義務教育課程)における福祉的視点と実践的態度の育成が焦眉の課題であり、教員の資質として期待されている。本授業は、「介護等体験実習」の事前指導として、実習をより充実させるための理論的・実践的内容で構成する。

到達目標 / Attainment Objectives

「介護等体験」を行う場所、「特別支援学校」と「社会福祉施設」についての知識(理念・実態・課題等)を得ることにより、教職を目指すものとして、障害のある人々や高齢者・障害者・幼児児童等に対する理解を深め、「介護等体験」への意欲的姿勢を培う。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

小学校、中学校教員免許状の取得に必要な科目

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
9月29日(水)	イントロダクション(オリエンテーション): 「介護等体験」の位置付けとその意義。参加するにあたっての全般的な注意事項。実施までの流れと登録手続きおよび受講クラスの確定	「2011年度体験者向け 介護等体験の手引き」(冊子) 風疹抗体検査の手続きおよび介護等体験参加申し込み(登録)
10月13日(水)	「特別支援学校」について (講義) - 「特別支援教育」の現状及び障害のある幼児児童生徒の実態と理解	障害観の変遷および自分にとっての障害とは
10月27日(水)	「特別支援学校」について (講義) - 「特別支援学校」の概要及び現状理解と「介護等体験」実施の様子	【中間レポート】「3つのキーワードおよび障害について思うこと」
11月10日(水)	「社会福祉施設」について (講義) - 高齢者福祉施設の現状と課題	施設長等による外部講師の講義
11月24日(水)	「社会福祉施設」について (講義) - 障害者福祉施設の現状と課題	施設長等による外部講師の講義
12月8日(水)	介護等体験実施に向けての自己理解(先輩の体験談等を聞いてグループワーク)	座席指定・グループ編成
12月22日(水)	「介護等体験」参加するにあたっての心構えとまとめ(講義・先輩の体験談等) 【終了レポート提出-当日課題提示】	「介護等体験の手引き」「フィリア」「よくわかる社会福祉施設」講義配布資料

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

特別支援学校インターンシップおよび障害児サークル・ボランティアに積極的に参加

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	「介護等体験」は教職を目指す者としての最初の就職活動として取り組む心構えが必要である。その意義をよく理解し、熱意を持って授業に臨めたかどうかを最大の評価基準とする。原則として、全出席を最重要視する。 評価方法は下記「備考欄」の内容を踏まえて「P/F評価」とする。 公欠事由: 出席停止(感染症)に該当する病気 忌引き(2親等以内の血族・姻族) 災害 交通機関の延着 教育実習等(4回生以上、大学で確

【出席要件】

- ・5回以上の出席及び最終日の出席と「最終レポート」の提出をもって「P」評価とする。
そのため原則としてすべての授業への出席が必須となる。毎回、出席カード等(コミュニケーションカード)を持って出席確認を行う。
- ・事前届出の有無を問わず、3回以上欠席した場合は「F評価」とする。ただし、公欠事由を除く。
- ・また、「遅刻」「QRコード票無添付」「私語」についても厳しく評価を行なう。
QRコード票についても、2回添付忘れの場合には、別途レポート課題を課し、提出をもって評価対象とする。
- ・20分超える「遅刻」の場合についても、理由の如何を問わず入室を認めない(欠席扱い)。
- ・「私語」「携帯電話」「飲食」などについても厳しく評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

小学校・中学校教員免許取得のために義務付けられている科目であるが、教職を目指す者として、今日の社会的課題である「ノーマライゼーシ

ン理念の具現化」に向けた実践的経験の場として自らの人権感覚を磨き、常識ある行動をとれるよう、積極的な姿勢を望む。

教科書 / Textbooks

テキストは使用しないが、「介護等体験の手引き」(改訂版)を参考に使う。
また、2回目以降、適宜資料配付を行う。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
特別支援教育基本用語100	社団法人日本発達障害福祉連盟 / 日本文化科学社 / /
発達障害白書2009版2010版	上野一彦他 / 明治図書 / /

「フィリア」「よくわかる社会福祉施設」「手引き冊子」は、授業時において別途配布する(介護等体験履修料@3000-に中に含む)。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

授業で学ぶ内容をより深めるために、各特別支援学校ホーム・ページや児童福祉施・障害者福祉・高齢者福祉などの関連したページを検索し参照することを勧める。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

<http://webct.ritsumeai.ac.jp/webct/entryPageIns.dowebct>

その他 / Others

出席管理には「QRコード・シール」を使用する。

受講生は必ず毎回「QRコード・シール」を持参すること。

2回忘れた場合には別途レポート改題を課し評価対象とする。

(教)介護等体験実習 (Q1)

14162

担当者名 / Instructor 朝野 浩

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

介護等体験特例法に定められた要件を満たす体験実習として、本科目においては、特別支援学校2日間と社会福祉施設5日間の「介護等体験」(障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験)を行う。計7日間の体験実習を通じて、義務教育に従事する教員をめざす者として、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めていくことをめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

同上。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

他の教職課程科目。なお、本科目は、前年度までに「(教)介護等体験の研究(1単位)」の単位を修得していなければ、受講することができない。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	「P(合格)」「F(不合格)」による評価。詳細は備考参照。

体験先での取り組み状況や「終了報告書(レポート)」等を総合的に評価する。

なお、「介護等体験証明書のコピー」および「終了報告書」を、体験終了後1週間以内に必ず提出すること。「終了報告書」の提出がなければ成績評価対象とはならないので、特に注意すること。

【提出先】衣笠：教職教育課窓口、BKC：BKC教職支援センター窓口

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

本科目は、所属キャンパス・学部の別によらず、同一クラス(Q1クラス)を受講登録すること。

(教)初等教育実習I (SA)

14234

担当者名 / Instructor 石田 智巳

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「初等教育実習」は、実習年度に実施される直前ガイダンス、実習校実習、事後指導から成り立っている。
必要な手続きを行い、そのすべてを履修しなければならない。

到達目標 / Attainment Objectives

教育実践に必要な知識・技能を体験的に理解・習得する。
児童・学校についての理解を深める。
教師としての資質向上に関する課題意識を育てる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教育実習」の受講条件となっている科目について、実習前年度までに単位を修得しておかなければならない。詳細は産業社会学部履修要項の「子ども社会専攻学生の小学校一種免許状の取得について」のページを参照のこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	教育実習直前ガイダンス	
2	実習校(立命館小学校)における教育実習(2週間)	
3	教育実習事後指導	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	直前ガイダンス、事後指導ならびに、実習校における成績評価等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

「初等教育実習の手引き」立命館大学産業社会学部小学校教員養成課程

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

受講登録にあたっては、2回生時に各自が受講した「初等教育実習の研究A」と同一クラス(SA・SB・SCのいずれか)を登録すること。
直前ガイダンス・事後指導の内容や日程等については、後日発表するので、PSTルームからの連絡や掲示に十分注意すること。

(教)初等教育実習I (SB)

14235

担当者名 / Instructor 笹野 恵理子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「初等教育実習」は、実習年度に実施される直前ガイダンス、実習校実習、事後指導から成り立っている。
必要な手続きを行い、そのすべてを履修しなければならない。

到達目標 / Attainment Objectives

教育実践に必要な知識・技能を体験的に理解・習得する。
児童・学校についての理解を深める。
教師としての資質向上に関する課題意識を育てる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教育実習」の受講条件となっている科目について、実習前年度までに単位を修得しておかなければならない。詳細は産業社会学部履修要項の「子ども社会専攻学生の小学校一種免許状の取得について」のページを参照のこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	教育実習直前ガイダンス	
2	実習校(立命館小学校)における教育実習(2週間)	
3	教育実習事後指導	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	直前ガイダンス、事後指導ならびに、実習校における成績評価等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

「初等教育実習の手引き」立命館大学産業社会学部小学校教員養成課程

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

受講登録にあたっては、2回生時に各自が受講した「初等教育実習の研究A」と同一クラス(SA・SB・SCのいずれか)を登録すること。
直前ガイダンス・事後指導の内容や日程等については、後日発表するので、PSTルームからの連絡や掲示に十分注意すること。

(教)初等教育実習の研究A (SA)

11469

担当者名 / Instructor 小原 豊

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

本授業の履修対象者は、産業社会学部子ども社会専攻の学生で、小学校にて教育実習を行う学生である。内容は小学校での教育実習の事前指導に位置付くものである。内容は、立命館小学校授業観察や、授業づくり、指導案の書き方などで構成される。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・教育実習の意義と内容が理解でき、心構えができる。
- ・立命館小学校の取り組みについて理解し、教育実習に必要な知識、理解を獲得できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

他の初等教職の科目、とりわけ、教育実習受講条件として実習前年度中に単位修得する 必要のある科目を中心に履修しておくことが望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回(10月6日)	ガイダンス	教育実習の全体像と『初等教育実習の手引き』について
第2回(10月13日)	教育実習について	実習生の一日、実習簿の書き方、上回生との経験交流
第3回(10月20日)	立命館小学校教育実習について	立命館小学校関係者の講話(荒木貴之 副校長)
第4回(11月24日)	立命館小学校教育実習について	立命館小学校の授業観察
第5回(11月24日)	立命館小学校教育実習について	立命館小学校の授業観察
第6回(12月1日)	授業づくり	指導案、展開、板書の理論的理解(e黑板 基本技能含む)
第7回(12月15日)	授業づくり	指導案、展開、板書の実践的理解(立命館小学校 長谷川昭 主幹による講義)
第8回(1月12日)	教育実習について	実習に望む心構え

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

教育実習受講に際しての事前指導科目であるので、真摯で責任ある態度で臨むこと。また、日頃より新聞報道や書物講読等を通して、教育をめぐる社会動向やトピックに常に関心を向け、理解しておくこと。さらに、実習教科に関する指導法や教科専門性を養うため、いわゆる指導法系科目や「教科に関する科目」の履修を通して研鑽に努めること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席とレポート等で総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

第3回～第6回の立命館小学校関係の講義については、『まるごと立命館小学校メソッド！ 発見・創造、基礎基本』（学事出版 2009）を使用する。購入手続き等は第1回講義時に指示する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

10月6日のガイダンス時に、欠席・遅刻等を含め、詳細な連絡を行うので欠席のないように。様々な連絡は、小学校教員養成課程サポートセンターを通じて行うのでメール及び掲示等には十分に注意すること。

(教)初等教育実習の研究A (SB)

11470

担当者名 / Instructor 野田 正人

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

本授業の履修対象者は、産業社会学部子ども社会専攻の学生で、小学校にて教育実習を行う学生である。内容は小学校での教育実習の事前指導に位置付くものである。内容は、立命館小学校授業観察や、授業づくり、指導案の書き方などで構成される。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・教育実習の意義と内容が理解でき、心構えができる。
- ・立命館小学校の取り組みについて理解し、教育実習に必要な知識、理解を獲得できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

他の初等教職の科目、とりわけ、教育実習受講条件として実習前年度中に単位修得する 必要のある科目を中心に履修しておくことが望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回(10月6日)	ガイダンス	教育実習の全体像と『初等教育実習の手引き』について
第2回(10月13日)	教育実習について	実習生の一日、実習簿の書き方、上回生との経験交流
第3回(10月20日)	立命館小学校教育実習について	立命館小学校関係者の講話(荒木貴之 副校長)
第4回(11月24日)	立命館小学校教育実習について	立命館小学校の授業観察
第5回(11月24日)	立命館小学校教育実習について	立命館小学校の授業観察
第6回(12月1日)	授業づくり	指導案、展開、板書の理論的理解(e黑板 基本技能含む)
第7回(12月15日)	授業づくり	指導案、展開、板書の実践的理解(立命館小学校 長谷川昭 主幹による講義)
第8回(1月12日)	教育実習について	実習に望む心構え

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

教育実習受講に際しての事前指導科目であるので、真摯で責任ある態度で臨むこと。また、日頃より新聞報道や書物講読等を通して、教育をめぐる社会動向やトピックに常に関心を向け、理解しておくこと。さらに、実習教科に関する指導法や教科専門性を養うため、いわゆる指導法系科目や「教科に関する科目」の履修を通して研鑽に努めること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席とレポート等で総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

第3回～第6回の立命館小学校関係の講義については、『まるごと立命館小学校メソッド！ 発見・創造、基礎基本』（学事出版 2009）を使用する。購入手続き等は第1回講義時に指示する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

10月6日のガイダンス時に、欠席・遅刻等を含め、詳細な連絡を行うので欠席のないように。様々な連絡は、小学校教員養成課程サポートセンターを通じて行うのでメール及び掲示等には十分に注意すること。

担当者名 / Instructor 江原 武一

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期 Semester での2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

(教)総合演習I (GB) § (教)総合演習 (GB) § (教)教職総合演習 (SB)

12870

担当者名 / Instructor 石田 智巳

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

(教)総合演習I (GC) § (教)総合演習 (GC) § (教)教職総合演習 (SC)

13670

担当者名 / Instructor 笹野 恵理子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。

なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
 プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
 教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

(教)総合演習I (GD) § (教)総合演習 (GD) § (教)教職総合演習 (SD)

13671

担当者名 / Instructor 山下 芳樹

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期 Semester での2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

(教)総合演習I (GE) § (教)総合演習 (GE) § (教)教職総合演習 (SE)

13858

担当者名 / Instructor 山岡 憲史

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

(教)総合演習I (GF) § (教)総合演習 (GF) § (教)教職総合演習 (SF)

13859

担当者名 / Instructor 保坂 芳男

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

(教)総合演習I (GG) § (教)総合演習 (GG) § (教)教職総合演習 (SG)

12871

担当者名 / Instructor 伊藤 隆司

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

(教)総合演習I (GH) § (教)総合演習 (GH) § (教)教職総合演習 (SH)

12872

担当者名 / Instructor 小原 豊

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	
		出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

担当者名 / Instructor 磯崎 三郎

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期 Semester での2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

(教)総合演習I (GJ) § (教)総合演習 (GJ) § (教)教職総合演習 (SJ)

16359

担当者名 / Instructor 大島 明

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

(教)総合演習I (GK) § (教)総合演習 (GK) § (教)教職総合演習 (SK)

16360

担当者名 / Instructor 沖 裕貴

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

(教)総合演習I (GL) § (教)総合演習 (GL) § (教)教職総合演習 (SL)

16361

担当者名 / Instructor 小泉 良一

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

(教)総合演習I (GM) § (教)総合演習 (GM) § (教)教職総合演習 (SM)

16362

担当者名 / Instructor 三軒 久枝

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

(教)総合演習I (GN) § (教)総合演習 (GN) § (教)教職総合演習 (SN)

16363

担当者名 / Instructor 森田 真樹

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

担当者名 / Instructor 早川 幸生

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期 Semester での2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

(教)総合演習I (GP) § (教)総合演習 (GP) § (教)教職総合演習 (SP)

16408

担当者名 / Instructor 湯川 笑子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期 Semester での2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**その他 / Others**

(教)初等教育実習II(事後指導を含む) (SA)

14324

担当者名 / Instructor 伊藤 隆司

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「(教)初等教育実習 (事後指導を含む)」は、実習年度(4年生)の直前ガイダンス、実習校実習、事後指導から成り立っており、必要な手続きを行い、そのすべてに出席することが求められる。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

「(教)初等教育実習 (事後指導を含む)」の受講条件となっている科目について、実習前年度までに単位を修得しておかなければならない

授業スケジュール / Course Schedule
(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	オリエンテーション・ガイダンス、ならびに事後指導や特別授業への出席状況、実習校における成績評価等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

受講登録にあたっては、各自が受講した「初等教育実習の研究(事前指導)」と同一クラスを登録すること。

(教)初等教育実習II(事後指導を含む) (SB)

14325

担当者名 / Instructor 大谷 いづみ

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「(教)初等教育実習 (事後指導を含む)」は、実習年度(4年生)の直前ガイダンス、実習校実習、事後指導から成り立っており、必要な手続きを行い、そのすべてに出席することが求められる。

到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「(教)初等教育実習 (事後指導を含む)」の受講条件となっている科目について、実習前年度までに単位を修得しておかなければならない。

授業スケジュール / Course Schedule
(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	オリエンテーション・ガイダンス、ならびに事後指導や特別授業への出席状況、実習校における成績評価等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staffその他 / Others

受講登録にあたっては、各自が受講した「初等教育実習の研究(事前指導)」と同一クラスを登録すること。

(教)初等教育実習II(事後指導を含む) (SC)

14326

担当者名 / Instructor 山下 芳樹

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「(教)初等教育実習 (事後指導を含む)」は、実習年度(4年生)の直前ガイダンス、実習校実習、事後指導から成り立っており、必要な手続きを行い、そのすべてに出席することが求められる。

到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「(教)初等教育実習 (事後指導を含む)」の受講条件となっている科目について、実習前年度までに単位を修得しておかなければならない。

授業スケジュール / Course Schedule
(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	オリエンテーション・ガイダンス、ならびに事後指導や特別授業への出席状況、実習校における成績評価等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staffその他 / Others

受講登録にあたっては、各自が受講した「初等教育実習の研究(事前指導)」と同一クラスを登録すること。